

Victors

SBK

**SUPERBIKE
WORLD CHAMPIONSHIP**

OFFICIAL PROGRAM

'93ヴィクトーススーパーバイク世界選手権シリーズ第9戦

**POCARI SWEAT
SUGO SUPERBIKE
WORLD CHAMPIONSHIP RACE**

'93/8 aug / 28 sat / 29 sun

ポカリエットSUGOスーパーバイク世界選手権レース
スーパーカップロードレース選手権 / SUGOフォーミュラ

■主催 / (財)日本モーターサイクルスポーツ協会 / スポーツランドSUGO / 仙台放送

■協賛 / 大塚製薬株式会社 ■後援 / 宮城県 / 村田町



IMN 02/10



NCL503

XJR
YAMAHA FOUR-STROKE AIR-COOLED INLINE-FOUR

XJR
YAMAHA FOUR-STROKE

サーイク バイク
●XJR400の資料請求に関するお問い合わせは、ヤマハモーターサイクル HOT LINE ☎0120-319-819へどうぞ。 ●価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄および一部離島を除く)

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローインクタウン!

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間

NCL501

IR

AIR-COOLED INLINE-FOUR

こいつは、ロックかブルースか。

XJR400

Model type:4HM Engine type:Air cooled DOHC 4valve inline 4

Displacement:399cc Max.power:53ps/11,000rpm Max.torque:3.5kg-m/9,500rpm

Transmission:6speed return Dry weight:175kg

Body coloring:Black 2, Deep red cocktail 2, Very dark violet cocktail 2

¥579,000



●価格は参考価格です ●価格には保険料・税金(含む消費税)・登録などに伴う費用等は含まれていません ●消費税は別途計算のうち申し受けます ●詳しくは販売店にお問い合わせください ●メーカーオプションで速度警告灯設置標準車(¥10,000高)もあります

Y.E.S.S.

スポーツバイク・ライフを大きく広げるイエスです

●Y.E.S.S.(イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS SYSTEMの略。モーターサイクルがプレゼントしてくれる限りなく大きな遊びの世界を、もっと積極的に、もっと愉快地に楽しもうと生まれたクラブです ●サマーフェスティバル、ハイクレッシェン、レースなどへの参加のお誘いや、さまざまな施設の利用割引など、特典もいろいろ。さらに、UC VISA提携カードもあります ●入会のお問い合わせ、お申し込みはY.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店、またはヤマハモーターサイクル HOT LINE ☎0120-319-819へどうぞ



YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

極まるトウジュー、ミニクワット。



HI-SPORT radial TX11

100/80 ZR16 TL	¥19,000
120/80 ZR16 TL	¥25,300
130/70 ZR16 TL	¥26,500
100/80 ZR17 TL	¥19,600
110/80 ZR17 TL	¥25,400
110/70 ZR17 TL	¥21,300
120/70 ZR17 TL	¥26,200
120/60 R17 55H TL	¥19,800
120/60 ZR17 TL	¥20,800
130/60 ZR17 TL	¥27,900
110/80 ZR18 TL	¥26,000

HI-SPORT radial TX23

160/80 ZR16 TL	¥34,200
130/70 ZR17 TL	¥26,200
150/70 ZR17 TL	¥32,000
150/60 ZR17 TL	¥29,600
160/60 R17 69H TL	¥31,000
160/60 ZR17 TL	¥32,600
180/55 ZR17 TL	¥35,500
140/60 ZR18 TL	¥27,800
150/70 ZR18 TL	¥32,300
150/60 ZR18 TL	¥31,200
160/60 ZR18 TL	¥34,300

radial A89X

120/80 ZR16 TL	¥24,000
★130/70 ZR16 TL	¥26,000
110/80 ZR17 TL	¥24,200
110/70 ZR17 TL	¥20,300
120/70 ZR17 TL	¥25,200
120/60 ZR17 TL	¥19,700
130/60 ZR17 TL	¥26,600
110/80 ZR18 TL	¥24,900
★印のサイズは発売予定サイズです。	

radial M89X

160/80 ZR16 TL	¥32,500
130/70 ZR17 TL	¥26,000
150/70 ZR17 TL	¥30,500
160/70 ZR17 TL	¥32,500
160/60 ZR17 TL	¥32,000
170/60 ZR17 TL	¥33,000
180/55 ZR17 TL	¥34,700
130/70 ZR18 TL	¥26,200
★140/60 ZR18 TL	¥26,400
160/60 ZR18 TL	¥33,000

radial A59X

120/80 ZR16 TL	¥24,000
130/60 ZR16 TL	¥25,500
110/80 ZR17 TL	¥24,200
110/70 ZR17 TL	¥20,300
120/70 R17 58H TL	¥24,000
120/70 ZR17 TL	¥25,200
120/60 ZR17 TL	¥19,700
130/60 ZR17 TL	¥26,600
110/80 ZR18 TL	¥24,900
120/60 ZR18 TL	¥26,000

radial M59X

160/80 ZR16 TL	¥32,500
160/60 ZR16 TL	¥31,000
140/80 ZR17 TL	¥29,000
160/60 R17 69H TL	¥30,500
160/60 ZR17 TL	¥32,000
170/60 R17 72H TL	¥31,900
170/60 ZR17 TL	¥33,000
180/55 ZR17 TL	¥34,700
140/60 ZR18 TL	¥26,400
150/70 ZR18 TL	¥31,300
160/60 ZR18 TL	¥33,000

世界GPで磨き抜かれた、高度なコンペティション・テクノロジーとノウハウ。ミシュランのストリート・ラジアルは、それらを余すところなくフィードバックして生まれてきた。ハイパワード・マシンにふさわしい強大なグリップ力と高い限界性能。しかもハンドリング性能はつねにコントロールで、驚くほどスムーズなライディングが可能だ。サーキットまでをテリトリーとするレーシング・スペックのTXシリーズ。アグレッシブな高性能とロングライフを両立した89Xシリーズ。そしてストリート・ラジアルをリードした59Xシリーズまで、ラインアップもサイズも充実した。すべてに高度なそのトータルバランス。これが、あらゆる高性能マシンへのミシュランからの解答である。

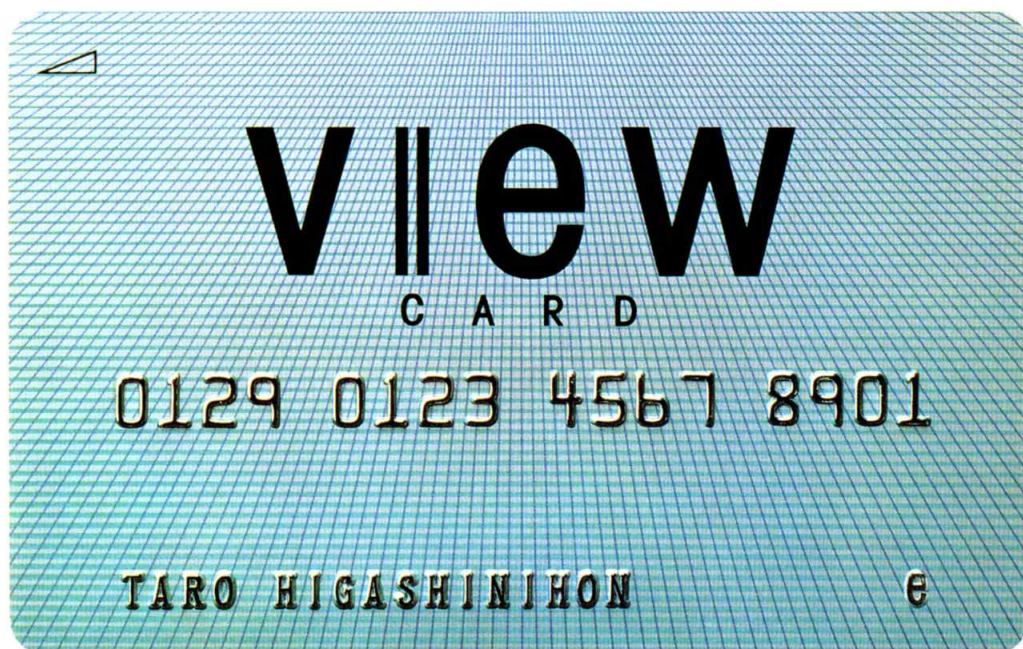


TX11 TX23 A89X M89X A59X M59X



THE TIRE MICHELIN

電車に乗る人は、 持ってた方がいい。



- 駅で便利な新しいタイプのクレジットカード。
- きっぷ、指定券、定期券のお求めがカードひとつですんなり。これからは出張もカード決済。
- 指定券は電話予約で。きっぷは郵送します。
- 初電から終電まで駅でキャッシングもOK。
- JR東日本グループのショッピングセンター、レストラン、ホテルでもどうぞお使いください。

ビューカード誕生

通勤、出張、旅行のカード、
JR東日本から。



●ご利用はステッカーマークを目印に。
入会申込書はJR東日本の主な駅にあります。
詳しくは、ビューカードセンター
(03-3217-1235)へどうぞ。

*クレジットカードは計画的にご利用ください。



チャンプの、ラブコール。

ロードレースの最高峰、世界選手権GP-1クラスの
3年連続チャンピオン、ウェイン・レイニー。

その笑顔は、親しい友人と再会したような喜びと安堵感に溢れている。

'93シーズン、彼が4年連続という偉大な足跡を記すためのパートナーとして
指名したのは、ダンロップ。自分のライディングスタイルに最もフィットするタイヤとして。

そして、おそらくエディやケニーを超えようとする野望のためのウエポンとして。

ダンロップは、そんなウェインを全力でバックアップする。

NEW

GPR-50

プロダクションレースで
頂点をめざす
鮮烈のグリップ・パワー

GPR-60

先進のJLB構造を搭載
ストリートで気をはく
ワイド・パフォーマンス

Rideen



日鉱共石

これからは酸素系。

酸素がガソリンの主流になった。


もっと速く、もっと快適に。
もっと、もっとクルマを大事にするために。

私たち日鉱共石の提案。

酸素系ガソリンが、地球という星では
すっかり常識になりました。

日本ではじめて酸素を入れたガソリンGP-1プラス。
これからは酸素系。

◀ 酸素をプラスした新ガソリン ▶
GP-1プラス

お求めは、 マークのサービスステーションで。



人の間にKDD。



KDD

国際電信電話株式会社



あなたの声に、ありがとう。

40th
ANNIVERSARY
世界をつないで、40年。

おかげさまで、KDDは今年、創業40周年を迎えました。

19万460。この数字は、KDD創業時、1953年度の国際電話の総コール数です。

そして、KDDが扱った一昨年度の総コール数は、3億3,940万。

今や、国際電話は、こんなに身近になりました。思えば、この40年間のKDDの歴史は、

日本の国際コミュニケーションの歴史といえるかもしれません。

国際電話・テレックスの時代から、国際電話の利用が急速に高まった時期を過ぎ、通信の高度化・多様化の時代へ。

KDDは、その時代の新しいニーズに、ひとつひとつ確実に応えてきました。

ひとりでも多くの人に、もっとコミュニケーションの輪を広げていきたい。

世界をつないで40年、私たちは今、感謝を込めてメッセージを贈ります。あなたの声に、ありがとう。

(便利さいろいろ、ますますおトク。) KDDの国際電話。

KDDの歴史は、日本の国際電話サービス発展の歴史でもあります。KDDは、日本からはもちろん、海外からのサービスも次々に拡充。どなたにも使いやすく、しかも経済的な国際電話サービスをいろいろご用意しております。日本から、海外から、国際電話ならKDD。これからも、どうぞよろしく願います。

From Japan

かけかたカンタン
ダイヤル直通。

001

世界中(210地域以上)へダイヤル直通。
しかも、深夜(23:00~翌朝8:00)なら約4割引のおトクな料金。
つまる話も、いたって軽々な001です。

〈たとえばニューヨークへダイヤル直通〉

001 ▶ 1 ▶ 212 ▶ 123-4567

おトクな3ケタ 国番号 市外局番 先方の電話番号

KDDのオペレータが
おつなぎする

0051

言葉が不安な国へは、0051オペレータ直通。
世界230地域のあらゆる相手先に、KDDのオペレータが
おつなぎします。

〈たとえばパリへ指名通話〉

0051 ▶ KDDのオペレータが応答します。 ▶ 先方の電話番号とお名前をお伝えください。

指名通話の場合は、先方の方が電話口に出るまでは無料、不在ならそのまま無料で取り消せます。
*0051では、ご指定の電話番号におつなぎする番号通話、クレジットカード・コール、コレクトコールもご利用いただけます。

From Overseas

KDD
ジャパン
ダイレクト

たとえばアメリカからは下記の番号をダイヤルするだけで、
KDDオペレータに直接日本語で日本への電話を、
お申し込みいただけます。

〈アメリカからKDDジャパンダイレクト〉

1-800-543-0051 ▶ 日本のKDDオペレータにつながりますので、日本語でお申し込みください。

*ホテルからご利用の場合は、最初に外線番号をダイヤルしてください。

*お支払いは、クレジットカード、日本払いのコレクトコール、またはおトクな国際電話専用カード「KDDジャパンダイレクト・カード」でどうぞ。

KDD
オート
クレジット

お支払いは、お持ちのクレジットカードで、しかもダイヤル直通。
たとえば、ハワイからなら下記の番号をダイヤルするだけで(ブッシュホンから)いつでも気軽に国際電話がご利用いただけます。

〈ハワイからKDDオートクレジット〉

1-800-433-0081 ▶ 日本語ガイダンス ▶ 日本の相手の電話番号に直接つながります。
*ガイダンスにしたがってダイヤルしてください。

●KDDの国際電話についてのお問い合わせは、**局番なしの0057**(無料)へ。



サーキット・パフォーマンスを
秘めたレースタイプ

BT-80S RADIAL

Rear



MSBELT

ワインディングロードで
冴えるスポーツタイプ

BT-72S RADIAL

Rear



MSBELT SPORT
SIC

コーナーを攻める。その
性にも大いなる走りは、もはや
RADIAL。そして、ドライバーからウェットまでオールラウンドに
走り込める、サーキット直系、BT-72S RADIAL。その持統
BATTLAX、コーナーを操れる高性能スポーツレジンバルブタイヤだ。
200の

BATTLAX

from BRIDGESTONE MOTORSPORT



FIM 会長
ヨス・P・ヴァッセン
President of FIM
Jos P. Vaessen

FIM会長として、日本の友人の皆様、参加ライダー、そしてスーパーバイク世界選手権本大会へお越し下さいました観客の皆様全てに対して、歓迎の意を表したいと存じます。

スーパーバイク世界選手権は1988年にスタートしましたが、世界中で目に見えてその人気は高まってきており、嬉しく思っております。

これまでこの大会の発展に力を注いで頂いた日本の関係者の皆様に感謝いたしますと共に、全ての皆様にとって素晴らしい週末になりますようお願い申し上げます。

As FIM President, I would like to greet all my friends in Japan, the riders and the spectators of this round of the Superbike World Championship.

The Superbike World Championship started in 1988 and I am happy to inform you that its popularity has visibly grown world-wide.

I appreciate all the effort of the people in Japan in promoting this event to such a high level and wish you all a fantastic weekend.



大会名誉顧問
大塚 明彦
Honorary Adviser
Akihiko Otsuka

大塚製薬株式会社 代表取締役社長
President, Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

本日は「ポカリスエットSUGO スーパーバイク世界選手権レース」をご観戦いただき、誠にありがとうございます。世界の一流選手の参加した本大会に、大きな期待を持たれているバイクファンも多いことと存じます。今年6回目を迎える「スーパーバイク選手権シリーズ」は、今年も世界選手権としての名にふさわしいレースを展開しており、本大会におきましてもスーパーバイクならではの緊張感あふれる熱戦になるものと確信しております。

私たちは本大会が、スポーツとしてのオートバイレースの振興の一助となることを願っております。そして、ご愛飲いただいておりますポカリスエット等の製品を通じ、皆様の健康のお役に立てればと考えております。最後に、本大会開催にあたり、関係各位より格別のご支援ご協力賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

We would like to extend our sincere gratitude to you all for your presence at the POCARI SWEAT SUGO Superbike World Championship Race. We presume that quite a few bike fans anticipate this specific event participated by the world's first class riders. "The 6th Superbike World Championship Series" this year will present a great race as the continuous worthy World Championship competition. We are confident that it will be highly tensioned races only superbike can offer. We hope that this meet will encourage the promotion and that we may be able to contribute much to the community through the favorably accepted products such as POCARI SWEAT. Finally, we wish to express our appreciation to all those who are concerned for their support and cooperation in the holding of this event



スーパーバイク世界選手権
シリーズプロモーター
マウリツィオ・フラミーニ
Superbike World Championship
Series Promoter
Maurizio Flammini

フラミーニ・グループ社長
President, Flammini Group

SUGO スーパーバイク大会は、本世界選手権の中でも最も意義ある大会の一つであると確信しております。日本はモーターサイクルを育ててきた国であり、モーターサイクルスポーツの発展と成功のための重要な拠点ではありますが、私共は、本シリーズの継続的な発展が今後のこのスポーツの将来に大いに寄与するものと信じております。

フラミーニ・グループではこのシリーズの模様を更に多くのファンの皆様にお届けするために、世界28ヶ国へ全戦生放送を行なっています。

8月29日には、本世界選手権の醍醐味と更なる発展を象徴するような素晴らしいレースが開催されるものと確信しております。

末筆ではございますが、この事業に多大なるご支援を頂いております親愛なる日本の皆様に心から感謝申し上げます。

The SUGO SUPERBIKE Event is without a doubt one of the most significant moments of the Superbike World Championship. Japan is the home of motorcycling and a vital point of reference for the development and success of this sport and we believe that the future of the motorcycling sport lies in the progressive affirmation of the Superbike series. The Flammini Group has committed itself to bring this competition to the highest level of popularity by guaranteeing live television coverage in 28 countries for all the championship race. We are certain that on the 29th of August we will witness a spectacular and fascinating race which will represent another step towards the success of the Superbike World Championship. In conclusion we would like to express our gratitude to our dear Japanese friends who have always given this enterprise great support and importance.



大会名誉会長
石塚 秀男
Honorary President
Hideo Ishizuka

石塚 秀男

財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会 会長
President, Motorcycle Federation of Japan

本日、世界各国より選手諸氏をはじめ多数の関係者並びに御客様をここスポーツランドSUGOにお迎えし、1993年度スーパーバイク世界選手権を開催できますことを心より嬉しく思います。

数ある国際格式の大会の中でも世界中の関心を集める本世界選手権を毎年開催できますことは、モーターサイクルスポーツの普及・振興と社会的認知の更なる向上のため、誠に意義の深いことでもあります。本日も来場の御客様には、世界のトップライダーの豪快なライディングやそれに挑む日本のトップ選手達のライディングを充分ご堪能頂けるものと確信致しております。今後も、ビッグイベントの開催を含め、更なるモーターサイクルスポーツの普及・発展に努力致す所存でございます。皆様のより一層のご協力・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

It gives us great pleasure to host the 1993 Superbike World Championship here today at Sportsland SUGO with the presence of the officials concerned, riders from all over the world and the audience. Being able to hold the annual World Championship competition among numerous other international tournaments is indeed very meaningful for the further promotion and social recognition of motorcycle sports. We are confident that the dynamic riding by the world's top riders and the challenge of their Japanese counterparts will satisfy our audience today. It is our intention to continue to hold such major events in the future thus encouraging the development of motorcycle sports in the future and would very much appreciate your unstinting support and cooperation.



大会会長
廣西 廉彦
President
Toshihiko Hironishi

廣西 廉彦

スポーツランドSUGO 代表取締役社長
President, Sportsland SUGO.

ヴィクターズスーパーバイク世界選手権シリーズ第9戦としてFIM並びにMFJのご公認のもと「ポカリスエットSUGOスーパーバイク世界選手権レース」をここに開催できますことを心より感謝いたします。ファンの皆様には、世界のトップレベルのレースを存分にお楽しみ頂きたいと存じます。

また本年は、特別レースとしてGP500とTTF-1、の両クラスの参加による「SUGOフォーミュラ」を開催することとなりました。両クラスのライダー、マシンが一堂に会する史上初のレースであり、白熱した好ゲームが展開されるものと確信しております。

本大会の開催にあたり、大塚製薬株式会社様はじめ、開催にご協力頂きました皆様に厚くお礼を申し上げ、そして参加選手皆様のご健闘をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

I take great pleasure in presenting the "POCARI SWEAT SUGO Superbike World Championship Race" officially recognized by the FIM and MFJ as the 9th round of the Victors Superbike World Championship Series. We are certain that all fans will be delighted to enjoy the racing of the world's leading riders. This year the "SUGO Formula" will be held as a special race with the GP500 and TTF-1 classes participating. This is the first time ever that riders and machines of both classes will compete and we are confident that it will be a hotly contested affair. We wish to thank the Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. and others who have co-operated in the holding of this meet, and look forward to a good contest by the racers who are participating.



大会副会長
早川 二郎
Vice-President
Jiro Hayakawa

早川 二郎

株式会社仙台放送 代表取締役社長
President, Sendai Television Broadcasting Corp.

仙台放送では、ポカリスエットSUGOスーパーバイク世界選手権レースを財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会、スポーツランドSUGOと共に開催させていただきます。

四輪のF1をはじめ、様々な車種・クラスのモータースポーツがメディアで取り上げられています。当社ではこれまでもスーパーバイクをはじめ、TTF-1、モトクロスなど、モータースポーツ中継に力をいれてきました。世界各国のつわものが凌ぎを削るこのレースの模様を、観客の皆様だけでなく、ブラウン管を通して、より多くの視聴者の皆様へお伝えできることは、まことに嬉しい限りです。番組は、中継録画により東京・大阪・名古屋をはじめ全国主要地区12局で放送されます。さらに、海外に向けては衛星回線を通じて、当日生中継を発信する予定です。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、大塚製薬株式会社様をはじめ、ご協力頂きました多くの方々から心から感謝申し上げます。

Sendai Television Broadcasting Corp. has the pleasure of co-sponsoring the SUGO Superbike World Championship Race with the Motorcycle Federation of Japan and Sportsland SUGO. Motor sports such as the 4wheeled F1 and various other classes of vehicles are now being focused upon by the motor sports media. Our company has placed emphasis on the broadcasting of Superbike racing, TTF-1 and motocross which are motorsports activities. It has been our pleasure to not only have the spectators enjoy the competition of the world's leading racers but to deliver through the TV screen the excitement to a huge number of viewers. Such programs are relayed by a net work of 12 of the major TV stations throughout Japan in Tokyo, Osaka, Nagoya and other main cities. Furthermore, live telecasts will be made overseas using the satellite system. Finally, we wish to express our appreciation to the Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. and others who have co-operated in the holding of this event.

【大会組織 Officials】

■大会役員

大会名誉総裁 Honorary Chairman	本間俊太郎 Shuntaro Honma	宮城県知事
大会名誉副総裁 Honorary Vice-Chairman	櫻中 良寿 Ryoju Sakuranaka	村田町町長
大会名誉会長 Honorary President	石塚 秀男 Hideo Ishizuka	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 会長
大会名誉顧問 Honorary Adviser	大塚 明彦 Akihiko Otsuka	大塚製薬(株) 代表取締役
大会名誉顧問 Honorary Adviser	村上 幸七 Koshichi Murakami	村田町町議会議員
大会会長 President	廣西 廉彦 Toshihiko Hironishi	スポーツランド SUGO 代表取締役社長
大会副会長 Vice-President	杉沼 浩 Hiroshi Suganuma	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 常務理事
大会副会長 Vice-President	早川 二郎 Jiro Hayakawa	(株)仙台放送 代表取締役
大会参与 Consultant	依田 掌 Tsukasa Yoda	(株)仙台放送 取締役
大会参与 Consultant	深津 賢輔 Kensuke Fukatsu	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 評議員
大会参与 Consultant	高橋 鐵郎 Tetsuro Takahashi	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 評議員
大会参与 Consultant	藤野 文夫 Fumio Fujino	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 評議員
大会参与 Consultant	渡辺 敏 Toshio Watanabe	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 評議員
大会参与 Consultant	関 登 Noboru Seki	MFJ 関東協議会 ブロック会長

■大会組織委員会 Organizing Committee

大会組織委員長 Chairman of Organizing Committee	渡辺 通弘 Michihiro Watanabe	大会組織委員 Member	安松 幹夫 Mikio Yasumatsu
大会組織委員 Member	太田 初美 Hatsumi Ohta	大会組織委員 Member	金田和比古 Kazuhiko Kameda

管制長	後藤 真里	進行長	今出ゆきよ	ピット長	山田 裕一
副管制長	伊藤 力雄	副進行長	高橋 仁	副ピット長	吉村久美子
コース長	佐々木津也	副進行長	渡辺 芳典	パドック長	森 正義

■事務局員	下浦 道子	佐藤 新一	及川 洋	森 美和	佐々木裕子
高橋 吉男	安藤 貴子	津田 協	原田 忠彦	菅原 茂	柴田 秀喜
我妻 大	及川 昌代	小瓶しのぶ	水梨 太	大久保英洋	蘇武 芳人
北口 陽子	荒川江美子	太田 朋孝	二階堂 香	菅野 正敏	山田幸一郎
林 由美子	林 晃子	宮崎 敬子	大泉 義和	高橋るり子	吉田 東則
荒 智美	高橋ますみ	菅原 富美	上野 淳	佐藤 勉	中村 陽子
大橋恵美子	工藤千佳子	佐藤 良太	諏訪部久良	中村 岳之	東 英治
■計時員	阿部 真澄	高山 和広	佐藤 一幸	片山 吉安	嶋原 政夫
渡辺 理一	阿部 久美	菅野 恵子	田中 浩	泉山 広志	丹野 栄起
八巻 良宏	矢部 園子	宮内 勇	小野恵美子	狗飼 清	小野寺康浩
高橋 時雄	村越 征己	沼田 保則	阿部 潤	合田 佳子	河村 聖一
村越 征己	秋山 豊	千明 倭	■コース員	星坂 正志	留場 秀俊
佐藤三枝子	石井 利明	孤井 貴	滝本竜太郎	成田 優樹	港 誠光
大室ひとみ	石井 貴	前田 賢二	大宮 隆	新聞 幸一	清水 正己
佐藤 真理	大場 善隆	伊藤 正人	小林 隆一	小林 隆一	志々木幸夫
今野 裕子	渡辺 正徳	相沢 道男	井上 啓次	相沢 道男	志子田健一
林 絵里子	斎藤 栄一	米山 正樹	安藤 美賀	安藤 美賀	太田 信孝

■大会審査委員会 Jury of the Meeting

◆世界選手権 World Championship	審査委員長 CCR 代表 President of Jury	Anders Åberg アンダース・アベルグ
審査委員 CCR 代表 Member	Robert J. Hewitt ロバート・J・ヒューイット	
審査委員 CM 代表 Member	Jan De Vries ジャン・ドウヴリース	
審査委員 CT 代表 Member	Ralph Freeman ラルフ・フリーマン	
審査委員競技監督 Member	板橋 康行 Yasuyuki Itabashi	
FMN 代表	外川 一雄 Kazuo Tagawa	
FMN CT 代表	溝口 正泰 Masayasu Mizoguchi	
◆スーパーカップ/SUGO フォーミュラ Supercup / SUGO Formula	審査委員長 President of Jury	三井 晃 Akira Mitsui
審査委員 Member	野口 種晴 Taneharu Noguchi	
審査委員 Member	佐藤 学 Manabu Sato	

■大会競技執行役員 Officials of the Base

◆世界選手権 World Championship	競技監督 Clerk of the Course	板橋 康行 Yasuyuki Itabashi
競技副監督 Dep. Clerk of the Course	若林 太市 Taichi Wakabayashi	
事務局長 Secretary General	太田 初美 Hatsumi Ohta	
事務局次長 Assistant Secretary	隠岐 直広 Naohiro Oki	
事務局次長 Assistant Secretary	小野寺政弘 Masahiro Onodera	
事務局次長 Assistant Secretary	太田 正浩 Masahiro Ohta	
◆スーパーカップ/SUGO フォーミュラ Supercup / SUGO Formula	競技監督 Clerk of the Course	後藤 秀典 Hidenori Goto
競技副監督 Dep. Clerk of the Course	若林 太市 Taichi Wakabayashi	
事務局長 Secretary General	佐藤 直徳 Hironori Sato	
事務局次長 Assistant Secretary	新田 尚宏 Naohiro Nitta	
事務局次長 Assistant Secretary	伊藤 一 Hajime Ito	

【公 示 Announcement】

(財)日本モーターサイクルスポーツ協会及び、スポーツランドSUGOはFIM公認のもとに国際スポーツ憲章(INTERNATIONAL SPORTING CODE OF FIM)、CCR規則及び本特別規則に基づき、スーパーバイク世界選手権をスポーツランドSUGOのインターナショナルレーシングコースで開催する。

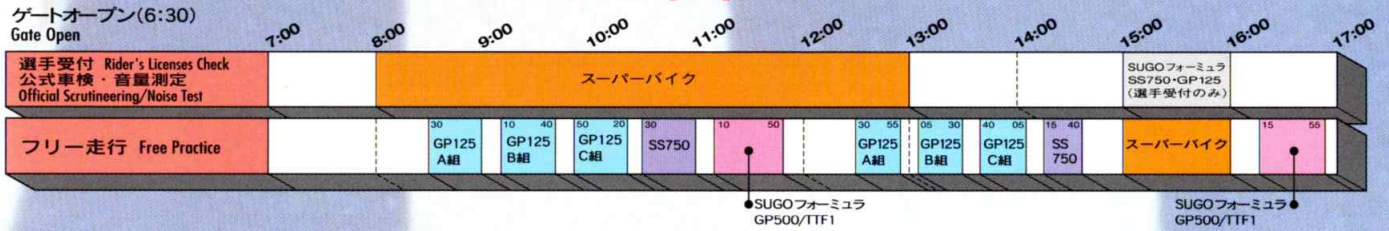
Motorcycle Federation of Japan and Sporsland SUGO will organize '93Superbike World Championship Race of Japan, SUGO(IMN 02/10) at SUGO international racing course.
The meeting, authorized by the Fedration of International Motorcyclists will be held in accordance with the International Sporting Code, CCR rules and the Supplementary Regulations.

【開催競技会 Event】

名称: '93 スーパーバイク世界選手権シリーズ第9戦
スーパーバイクSUGO大会(IMN 02/10)
日程: 1993年8月27・28・29日
主催: (財)日本モーターサイクルスポーツ協会
スポーツランドSUGO
(株)仙台放送
会場: スポーツランドSUGO インターナショナルレーシングコース
(3,737.50 m)

Event: The 9th round of the 1993 Superbike World Championship Superbike at SUGO meeting (IMN 02/10)
Date: Aug. 27.28.29. 1993
Organizer: Motorcycle Federation of Japan (MFJ)
Sportsland SUGO
Sendai Television Broadcasting Corp.
Place: SUGO International Racing Course (3,737.50 m)

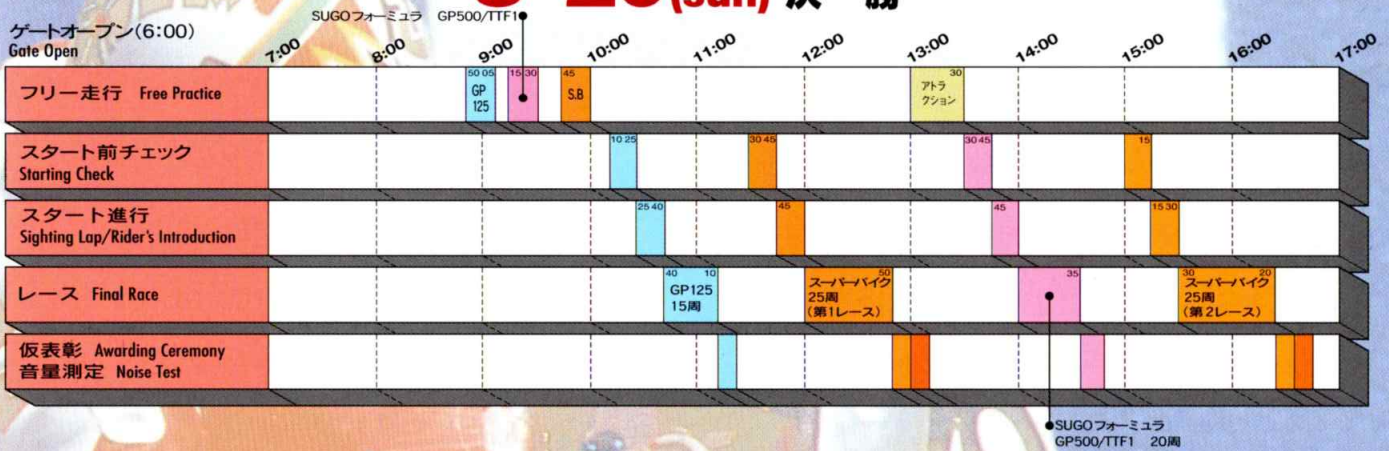
8・27 (fri) 公式予選



8・28 (sat) 公式予選



8・29 (sun) 決勝



【放送局およびネット局 TV on Air】

- 9月 5日 (日) 25:05~26:20 関西テレビ・テレビ西日本・テレビ静岡・テレビ新広島
- 9月 5日 (日) 25:10~26:25 北海道文化放送
- 9月 7日 (火) 25:15~26:30 フジテレビ・東海テレビ
- 9月 11日 (土) 14:00~15:15 青森テレビ
- 9月 11日 (土) 14:35~15:50 仙台放送・福島テレビ・岩手めんこいテレビ・秋田テレビ

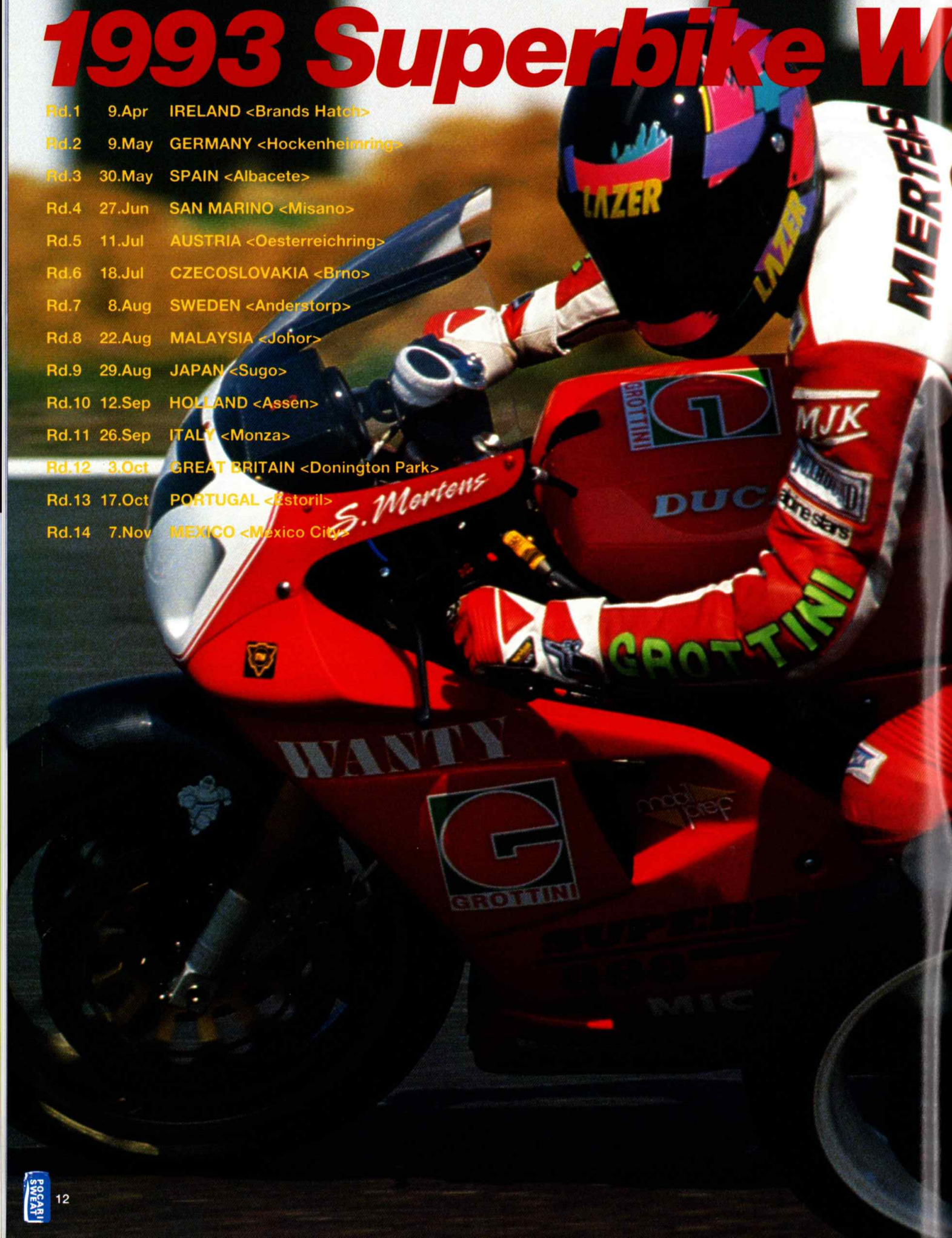
【ご協賛各社 Sponsors】

- | | | | |
|--------------|-----------------|----------------|-------------|
| 株式会社アライヘルメット | 株式会社山海堂 | 株式会社日鉱石 | 株式会社村山モーターズ |
| ウェザーコーポレーション | スナップオン・ツールズ株式会社 | 日本信販株式会社 | ヤマハ発動機株式会社 |
| 大塚製薬株式会社 | 住友ゴム工業株式会社 | 日本ミシュランタイヤ株式会社 | 横浜ゴム株式会社 |
| 兼匠三全 | 株式会社大洋ネットワーク | 東日本旅客鉄道株式会社 | |
| 国際電信電話株式会社 | 株式会社永谷園 | 株式会社ブリヂストン | (五十音順・敬称略) |



Catch The Super D 1993 Superbike World

- Rd.1 9.Apr IRELAND <Brands Hatch>
- Rd.2 9.May GERMANY <Hockenheimring>
- Rd.3 30.May SPAIN <Albacete>
- Rd.4 27.Jun SAN MARINO <Misano>
- Rd.5 11.Jul AUSTRIA <Oesterreichring>
- Rd.6 18.Jul CZECHOSLOVAKIA <Brno>
- Rd.7 8.Aug SWEDEN <Anderstorp>
- Rd.8 22.Aug MALAYSIA <Johor>
- Rd.9 29.Aug JAPAN <Sugo>
- Rd.10 12.Sep HOLLAND <Assen>
- Rd.11 26.Sep ITALY <Monza>
- Rd.12 3.Oct GREAT BRITAIN <Donington Park>
- Rd.13 17.Oct PORTUGAL <Estoril>
- Rd.14 7.Nov MEXICO <Mexico City>



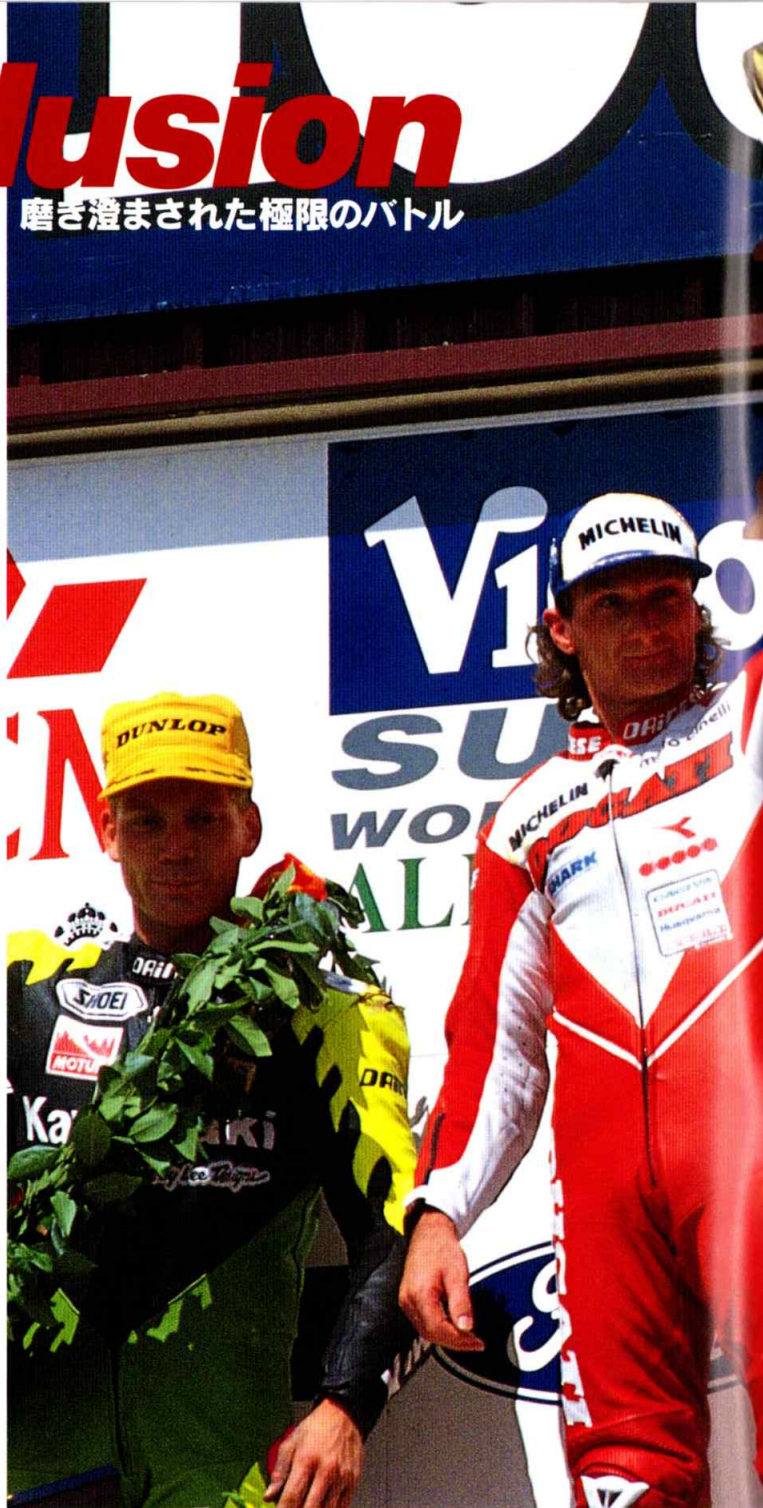
Dream World Championship



Victors
SBK
SUPERBIKE
WORLD CHAMPIONSHIP

Super Illusion

磨き澄まされた極限のバトル



6年目のシーズンを迎えたスーパーバイク

1988年にスタートしたスーパーバイク世界選手権シリーズも、今年で6年目のシーズンを迎える。マシンの改造範囲が狭いために、勝敗の行方がライダーのテクニックに依るところの大きいスーパーバイクでは、これまで毎レースといていほど激戦が展開され、そしてそれがこのレースにおける最大の魅力となってきた。しかし、そういう状況下でありながらも、一昨年頃から少しずつその勢力圏が確立されつつある。そう、ドゥカティの躍進だ。昨年はこのドゥカティを駆るダグ・ポーレンとレイモン・ロッシュがランキング1-2、さらにランキング4位にジャンカルロ・ファラツパが入るなど、圧

倒的な速さを見せていた。そしてその図式は、今シーズンにも確実に受け継がれているようだ。

91年、92年とチャンピオンを獲得した日本でも馴染みの深いポーレンがアメリカのAMA選手権シリーズへと戦いの場を移し、さらに90年のチャンピオン、ロッシュも昨年限りで引退を表明し、エース・ライダー不在といった形となったドゥカティだが、マシンのさらなる熟成とともに今年も圧倒的な速さを誇示。シリーズ第5戦までの全10ヒートで、なんと9勝を挙げ、あっさりとした主導権を握ってしまっているのだ。

新チャンピオンに高まる期待

さて、前述のとおりトップランカーの二人が揃ってスーパーバイク世界選手権から離れてしまった今年、必然的に新チャンピオン誕生の期待が高まっていく。そしてシーズン前の下馬評どおり、ロッシュが指揮するドゥカティのファクトリーチームの二人、ファラツパとカール・フォガッティが目覚ましい躍進を遂げているのが現状だ。しかし、何が起きるか分からないのがレースの、そしてスーパーバイクの醍醐味でもあり、テクニックという点ではまったく引けを取らないライダーが揃っているだけに、果たしてドゥカティがこのままの優位を保ってシーズンを乗り切れるかといえば、疑問符が付く。開幕戦



こそ両ヒート共にファラッパの独走で幕を閉じたが、第2戦の第1ヒートでは、ヤマハのファブリツィオ・ピロバーノが最後までファラッパを追い詰め、続く第2ヒートでは、カワサキのスコット・ラッセルがドゥカティを後方へと追いやる活躍を見せて優勝を収めている。この他にも、カワサキを駆るアロン・スライトや、第4戦からマシンをドゥカティに換え、さらに勢いづくフレッド・マールケルも常に上位入賞を果たし、そのチャンスを虎視眈眈と狙っている。さらにそのドゥカティ勢の中で、ステファン・メルデンス、新人マウロ・ルッキアリといったライダーの戦いも、今後のレース展開を占う意味で、重要なファクターとなることは間違いない。

日本メーカーの巻き返しなるか

こうした状況の中で、SUGOでのレースでは、やはり日本メーカーの巻き返しが大いに期待される。お膝元のレースであるだけに、当然パーツの供給率も高まることは必至だろうし、さらに、コースに対して様々なデータを備えている分、ドゥカティよりやや有利といえる。そして、このSUGOで一気に弾みをつけて、後半戦を優位に戦おうと考えているライダーも少なくないはずだ。さらに、日本人ライダーの活躍にも期待がかかる。日本では現在、スーパーバイクのシリーズ戦は行なわれていないが、いよいよ94年シーズンから開催の方向性が打ち出されており、来季へ向けての絶好のデモン

トレーションの場となることは間違いない。また、ここでの上位入賞者がそのまま来季のスーパーバイク・シリーズの主導権を握るライダーとして注目を集めることになるといっても過言ではないだろう。今回のスーパーバイク世界選手権SUGO大会は、単なるシリーズ戦の一レースではなく、後半戦に向けての大きなターニング・ポイントのレースであるばかりか、来季の全日本選手権シリーズにおける、スーパーバイクの動向を占う意味においても、重要なレースであるといえる。

花の都のピストポーク・リブレ。



NICOS CARD



【世界で安心です】◎日本語でOK、あらゆるご相談にお応えする海外サービス窓口「ハローデスク」◎最高2000万円の海外旅行障害保険◎海外利用分割払い◎国際電話サービス◎海外旅行の楽しさを広げる「YOU YOU SHOPPING」ご優待ガイドブック進呈【日本で安心です】◎最高1000万円の国内旅行障害保険(カード使用義務)◎携帯品補償サービス◎クレジットセイバー・サービス◎分割・リボルビング払いもOK◎気になるチームの情報にTEL & FAXで手軽にアプローチできる、「ニコスJリーグ情報サービス」◎カード即日発行サービス◎点数を集めてうれしいプレゼント、「ワイワイプレゼント」◎カードに関するお問い合わせ、ご入会お申込みは日本信販カードサービスセンター(営業時間9:30~18:00 日・祝・祭日は休業)へお気軽にどうぞ。◎年会費1287円、家族会員412円(ともに盗難保険手数料、消費税を含みます) ☎0120-030-060 カードのご利用は、無理なく計画的に 日本信販株式会社

日本信販は、Jリーグのシリーズスポンサーです。



●IEダクト2

好評のIEダクトを改良し、より低く、開口部を拡張してエアの流入量・排出量を向上させたIEダクト2。



●スーパーアドシス
・ポスト付きシールド

シールドが汚れる度に一枚ずつはがして視界を確保するレース専用パーツ「ティア・オフ・シールド」が取り付けられるポスト付きシールド。もちろんアドシスだから、瞬時に取り外して手軽に洗うこともできる。

●着脱式ディフレクター

シールドの曇りを防ぐ着脱可能なノーズディフレクター。晴れた日は取り外して軽快に。

●着脱フィルター式
マウスシャッター

走行中の土埃や虫の吸い込みを防ぐマウスシャッター。シャッター内部のフィルターを外して簡単に洗えるから、口元からのエアはいつも新鮮だ。



●エアオブラップ

真冬の天敵、アゴ下部からの冷たい巻き込み風を、引き出し式のエアオブラップがシャットアウトする。



●新形状ディフューザー

super cLc RX-7RRを、さらに進化させて誕生した新形状のディフューザー。頭頂部の7カ所の排気口から後方へ、走行時の負圧を効果的に利用してヘルメット内部の熱気を強力に吸い出すように排出する画期的なベンチレーションシステムだ。



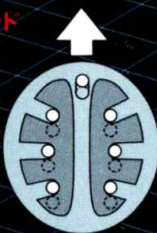
Super cLc

スーパーcLc帽体

ヘルメット用素材として最も優れたスーパーファイバーを、種々の強化繊維と一緒に丁寧に組み上げ、重さに対する無駄を省いて成型されたスーパーcLc帽体。だから軽くて強い。

●クラウンパッド

スライド可能なクラウンパッドは、ヘルメット内部の空気量が調節でき、夏は強力にクールダウン、冬には冷たい外気をシャットアウトすることもできる。



●フルシステム内装

天井部のクラウンパッドとサイドのクレードルパッドが着脱自在だから、ヘルメットの丸洗いはもちろんOK! 汗で汚れた内装も爽やかに、しかも新品同様のフィット感がよみがえる。



夏デビュー。

さらに進化したRR2。
ハード仕様



Super cLc
RX-7RR2



- 機種名: super cLc RX-7RR2 ●帽体: ScLc (スーパー・コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格: スネル1990, JIS C種 ●内装: フルシステム内装 ●色: 白、黒、グレイメタリック ●シールド: スーパーアドシス標準装備 (特許出願中) ●サイズ: (53-54), (55-56), (57-58), (59-60), (61-62)

¥49,000

※価格に消費税は含まれていません。
●アライ製品については、品質管理までお問い合わせください。
直通 TEL (048) 645-3661
株式会社 アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
TEL (048) 641-3825-7

夏季限定モデル

- ティア・オフ・シールド 5枚1組 ¥900
- ポスト付きシールド ¥4,400 (クリア、スモーク)



Racing Specialties

DUCATI

DUCATI Campione del mondo Superbike 1990-1992

SPEED

New STRADAは大排気量スーパースポーツモデルの新たな可能性を切り拓きます。並はずれた性能、まねのできない独自性、ライディングにおける爽快感。技術コンセプトを最大限に表現した、スタイルとパワーの完璧な融合。全ての妥協を拒否したリアルスポーツモデル、それが888STRADAです。スポーツモーターサイクルの分野でもっとも進歩したハイテクノロジー世代の優れた実例といえるでしょう。

888STRADA

- Engine Type: Liquid-cooled Desmodromic DOHC 8-valve 90° L2
- Displacement: 888cc
- Max. Horse Power: 100PS/9,000rpm(at wheel)
- Dry Weight: 202kg ■ ¥2,160,000



WINNING

New SP5はスーパーバイク世界選手権で勝利を獲得したマシンの完全なレプリカモデルです。スポーツマシンとしてサーキットですばらしい性能を発揮するだけでなく、一般路においても申し分なく容易に取り扱うことができます。SP5は、その際だって正確なブレーキングとコーナリング能力と共に、2気筒マシンとしての軽さと敏捷性を兼ね備えています。これは最速でもっともパワフルな、信頼できるロードゴーイングスーパースポーツの未来世代の代表なのです。

888SP5

- Engine Type: Liquid-cooled Desmodromic DOHC 8-valve 90° L2
- Displacement: 888cc
- Max. Horse Power: 118PS/10,500rpm(at wheel)
- Dry Weight: 188kg ■ ¥2,950,000

● 価格は東京店頭渡し、車両本体価格です。消費税、諸費用等は含まれていません。また為替変動等により、予告なく変更する場合があります。
● 写真はプロトタイプのため、市販モデルと一部異なります。

DUCATI World Champion Watch

SDW社製ワールドチャンピオンウォッチが、'92SBK世界選手権獲得を記念して、今年も限定生産され、30個のみが入荷しました。ムーブメントは高級腕時計に使用されることで定評のあるスイスETA社製機械式25石自動巻が使用され、裏側のスケルトン部分から精密で繊細な動きが見られます。ケースは耐蝕性に優れたステンレススチール製。200mの防水機能によりダイビングにも使用可能です。

SDW

- Case & Belt: Stainless Steel
- Movement: Automatic 25-jewel ■ Face: Sapphire glass
- Waterresistant 200m/1-year Warranty
- ¥100,000(without TAX)



CAGIVA Group モーターサイクル輸入総代理店

村山モータース

本社 ● 渋谷区笹塚2-7-8 ☎03-3378-0181
八王子 ● 八王子市宇津木町728-1 ☎0426-91-6511
横浜 ● 横浜市港南区日野8-1-2 ☎045-841-0181
(定休日: 金曜日・第2、第4土曜・祝祭日)

ENTRY LIST

Actors

夏を彩る戦士たち



ENTRY LIST

SUPERBIKE / ポカリスエットSUGO スーパーバイク世界選手権レース

決勝スタート:8月29日(日) 1st:12:00 ~、2nd:15:30 ~ / 周回数:25周 x 2 / レース距離:93.43km x 2

コースレコード: 1分32秒652 ダグ・ボレン(DUCATI) 1992年8月29日

ゼッケン NO.	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	出身地 NATION	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
4	カール・フォガティ / Carl FOGARTY	27	イギリス	ドゥカティ	TEAM DUCATI RAYMOND ROCHE
5	ファブリツィオ・ピロバーノ / Fabrizio PIROVANO	33	イタリア	ヤマハ	TEAM YAMAHA BYRD
6	アaron・スライト / Aaron SLIGHT	27	ニュージーランド	カワサキ	TEAM KAWASAKI MUZZY
7	ステファン・メルテンス / Stephane MERTENS	34	ベルギー	ドゥカティ	TEAM DUCATI GROTTINI
8	ダニエル・アマトリアイン / Daniel AMATRIAIN	26	スペイン	ドゥカティ	TEAM MARLBORO DUCATI
9	ジャンカルロ・ファラツパ / Giancarlo FALAPPA	30	イタリア	ドゥカティ	TEAM DUCATI RAYMOND ROCHE
10	ピエールジョルジョ・ボンテンピ / Piergiorgio BONTEMPI	25	イタリア	カワサキ	TEAM KAWASAKI ITALY BERTOCCHI
11	スコット・ラッセル / Scott RUSSELL	28	アメリカ	カワサキ	TEAM KAWASAKI MUZZY
14	クリスター・リンドーム / Christer LINDHOLM	27	スウェーデン	ヤマハ	TEAM AKERSTROMS YAMAHA SWEDEN
15	アドリアン・モリヤス / Adrien MORILLAS	35	フランス	カワサキ	
16	ファン・ガリガ / Juan GARRIGA	30	スペイン	ドゥカティ	
17	バルダサレ・モンティ / Baldassarre MONTI	30	イタリア	ヤマハ	TEAM YAMAHA BYRD
20	ジェフリー・ドウヴリス / Jeffrey DE VRIES	28	オランダ	ヤマハ	TEAM PEPSI YAMAHA HENK DE VRIES
23	ファブリツィオ・フルラン / Fabrizio FURLAN	26	イタリア	カワサキ	VELMOTOR 2000 BIKEQUIPE
24	塚本 昭一 / Shoichi TSUKAMOTO	32	兵庫	カワサキ	K.R.T.
27	フレッド・マーケル / Fred MERKEL	30	アメリカ	ドゥカティ	TEAM RED DEVIL RACING
28	アントン・ゴエリー / Anton GOEHLY	31	ルセブルグ	ヤマハ	TGR WELDING TECHNOLOGY
31	今井 伸一郎 / Shinichiro IMAI	26	大阪	カワサキ	月木レーシング
32	テリー・ライマー / Terry RYMER	26	イギリス	ヤマハ	PEPSI GALP RACING
34	マウロ・ルッキアリ / Mauro LUCCHIARI	25	イタリア	ドゥカティ	TEAM DUCATI GROTTINI
37	エルヴ・モアノー / Herve MOINEAU	38	フランス	スズキ	SUZUKI CASTROL RACING TEAM
40	北川 圭一 / Keiichi KITAGAWA	26	京都	カワサキ	K.R.T.
41	宮崎 祥司 / Shoji MIYAZAKI	29	三重	カワサキ	TEAM TKRD
43	茂木 正人 / Masato MOGI	26	群馬	カワサキ	T-BIRD RACING
44	新垣 敏之 / Toshiyuki ARAKAKI	28	沖縄	ドゥカティ	TEAM Silver Bird
45	原田 武 / Takeshi HARADA	26	熊本	ヤマハ	TEAM T-H friends
46	高田 博文 / Hirofumi TAKADA	24	群馬	ヤマハ	チーム RS KATAKURA
47	日向 正篤 / Masaatsu HYUGA	34	神奈川	カワサキ	BRAIN RACING
48	中田 雅夫 / Masao NAKADA	23	宮城	ヤマハ	COM レーシングチーム
49	金海 達雄 / Tatsuo KANAUMI	28	大阪	ヤマハ	RACING TEAM GRS
50	泉名 英男 / Hideo SENMYO	28	埼玉	ホンダ	向陽会ドリームレーシングチーム
51	山本 大成 / Hironari YAMAMOTO	26	大阪	ヤマハ	TEAM MAUSER & N.S.R
52	高橋 勝義 / Katsuyoshi TAKAHASHI	27	福島	ヤマハ	チームタイラ & YESS
53	柴内 康吉 / Yasuyoshi SHIBAUCHI	27	東京	カワサキ	T-BIRD RACING
54	三輪 成正 / Narimasa MIWA	31	埼玉	ホンダ	ホンダブルーヘルメットMSC
55	渡辺 克也 / Katsuya WATANABE	31	岩手	ホンダ	BIG BOX 岩鑄 RT
56	鈴木 誠 / Makoto SUZUKI	29	東京	カワサキ	OVER de LIGHT
66	クリストフ・ギュイヨット / Christophe GUYOT	31	フランス	カワサキ	
70	アルデオ・プレシウティ / Aldeo PRESCIUTTI	32	イタリア	ドゥカティ	TEAM RED DEVIL RACING
86	ジャン-マルク・ドゥレタン / Jean-Marc DELETANG	28	フランス	ヤマハ	MECASPORT
96	アドリアノ・ナルドゥチ / Adriano NARDUCCI	37	イタリア	ドゥカティ	



'93スーパーバイク ポイントランキング

NO.	RIDER	MACHINE	第1戦 4/9 アイルランド		第2戦 5/9 ドイツ		第3戦 5/30 スペイン		第4戦 6/27 サンマリノ		第5戦 7/11 オーストリア		第6戦 7/18 チェコ		TOTAL
			1ST	2ND	1ST	2ND	1ST	2ND	1ST	2ND	1ST	2ND	1ST	2ND	
1	S.ラッセル/Scott RUSSELL	カワサキ	17	17	10	20	—	17	13	17	15	4.5	17	20	167.5
2	C.フォガティ/Carl FOGARTY	ドウカティ	—	—	15	9	20	20	11	15	13	6.5	20	17	146.5
3	G.ファラツパ/Giancarlo FALAPPA	ドウカティ	20	20	20	15	—	—	20	20	10	10.0	11	—	146.0
4	A.スライト/Aaron SLIGHT/	カワサキ	11	10	13	13	17	15	10	10	17	—	15	—	131.0
5	F.ピロバーノ/Fabrizio PIROVANO	ヤマハ	—	15	17	11	13	9	15	5	—	—	13	13	111.0
6	S.メルテンス/Stephane MERTENS	ドウカティ	10	13	—	10	—	13	—	6	7	—	6	15	80.0
7	P.ボンテンピ/Piergiorgio BONTEMPI	カワサキ	—	—	—	7	15	10	—	9	11	0.5	9	10	71.5
8	J.ガリガ/Juan GARRIGA	ドウカティ	5	8	—	17	10	11	9	11	—	—	—	—	71.0
9	F.マーケル/Fred MERKEL	ドウカティ	9	9	—	4	7	4	6	—	5	8.5	—	11	63.5
10	M.ルッキアリ/Mauro LUCCHIARI	ドウカティ	3	4	—	—	4	6	17	13	—	5.5	10	—	62.5
11	T.ライマー/Terry RYMER	ヤマハ	—	11	8	—	9	7	7	7	—	—	7	—	56.0
12	A.モリヤス/Adrien MORILLAS	カワサキ	13	5	11	8	—	3	—	—	—	—	—	—	40.0
13	J.ドゥヴリス/Jeffry DE VRIES	ヤマハ	—	—	5	—	—	1	5	4	9	3.5	2	8	37.5
14	A.メクロー/Andreas MEKLAU	ドウカティ	—	—	—	—	—	—	—	—	20	7.5	—	—	27.5
15	C.リンドーム/Christer LINDHOLM	ヤマハ	—	—	7	3	3	—	—	—	4	—	—	9	26.0

ENTRY LIST

SUGO Formula (GP500 vs TT-F1)

決勝スタート:8月29日(日) 14:00 /周回数:20周/レース距離:74.75km

※TT-F1クラスの参加資格は、技量面を考慮して'92年度ランキング15位以内までの選手とする。

●GP500コースレコード:1分30秒983 マイケル・ドゥーハン(H-NSR500)1991年10月5日 ●TT-F1コースレコード:1分31秒614 北川圭一(K-ZXR-7)1993年4月24日

GP500

ゼッケン NO.	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	所属県 PREF.	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
3	藤原 儀彦 /Norihiko FUJIWARA	26	神奈川	Y-YZR500	キリンメッツRTヤマハ
4	本間 利彦 /Toshihiko HONMA	26	愛知	Y-YZR500	日本テレコムRTヤマハ
5	辻本 聡 /Satoshi TSUJIMOTO	33	大阪	H-NSR500	am/pm レーシング
6	岩橋 健一郎 /Kenichiro IWAHASHI	28	大阪	H-NSR500	セガチームブルーフォックス
7	新 辰朗 /Tatsuro ARATA	32	東京	Y-YZR500	伊藤園レーシング
17	阿部 典史 /Norifumi ABE	17	東京	H-NSR500	セガチームブルーフォックス
33	鶴田 竜二 /Ryuji TSURUTA	27	愛知	H-NSR500	Scuderia OKUMURA
35	佐藤 雅彦 /Masahiko SATO	23	静岡	Y-YZR500	TEAM TAIRA
36	芳賀 健輔 /Kensuke HAGA	20	愛知	Y-YZR500	YMO レーシングチーム
88	ケビン・マギー /Kevin MAGEE	30	オーストラリア	Y-YZR500	日本テレコムRTヤマハ

TT-F1

ゼッケン NO.	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	所属県 PREF.	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
03	武石 伸也 /Shinya TAKEISHI	25	三重	H-RVF750R	an チームブルーフォックス
05	永井 康友 /Yasutomo NAGAI	27	埼玉	Y-YZF750	キリンメッツRTヤマハ
07	大阪 賢二 /Kenji OSAKA	26	神奈川	S-GSX-R750W	ヨシムラ・スズキ・GPI プラス
09	吉川 和多留 /Wataru YOSHIKAWA	24	東京	Y-YZF750	Y.R.T.R



International

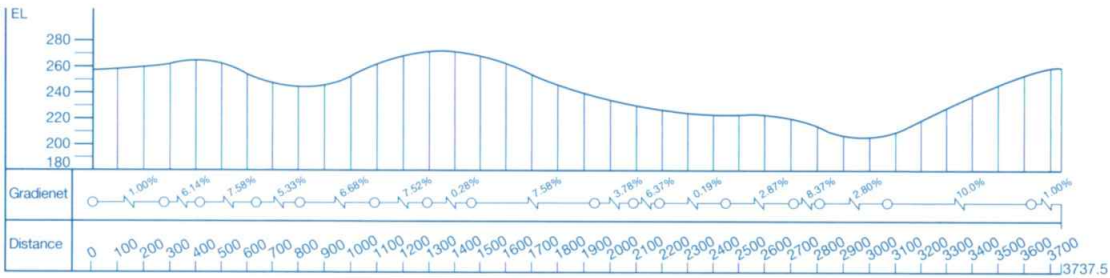
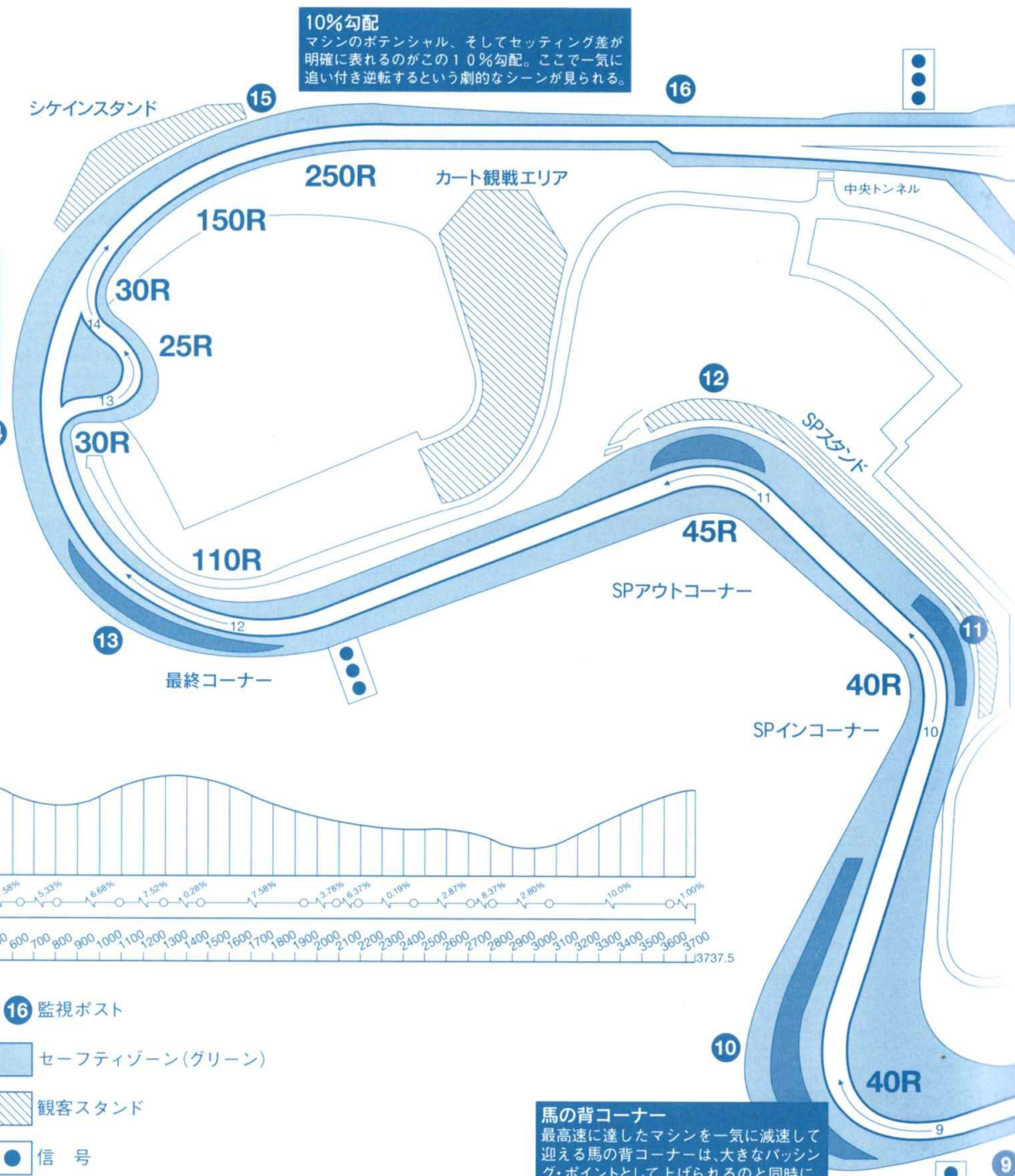


SPECIFICATIONS/Form: Circular/Overall length: 3,737.50/Longest stretch: 704.50m/Minimum radius: 20m/Course



10%勾配
 マシンのポテンシャル、そしてセッティング差が明確に表れるのがこの10%勾配。ここで一気に追い付き逆転するという劇的なシーンが見られる。

シケイン
 これまで、SUGOでの多くの名勝負を生んできたのがこのシケイン。その独特のレイアウトから、様々な走行ラインを取ることができるため、ラスト・ラップのシケインをパッシング・ポイントにするライダーは多い。



- ① ~ ⑯ 監視ポスト
- セーフティゾーン(グリーン)
- 観客スタンド
- 信号
- ① → 主要14コーナーと番号

馬の背コーナー
 最高速に達したマシンを一気に減速して迎える馬の背コーナーは、大きなパッシング・ポイントとして上げられるのと同時に、転倒シーンも多く見られる。ライダーにとっては勝負所であり、難所でもある。

nd SUGO

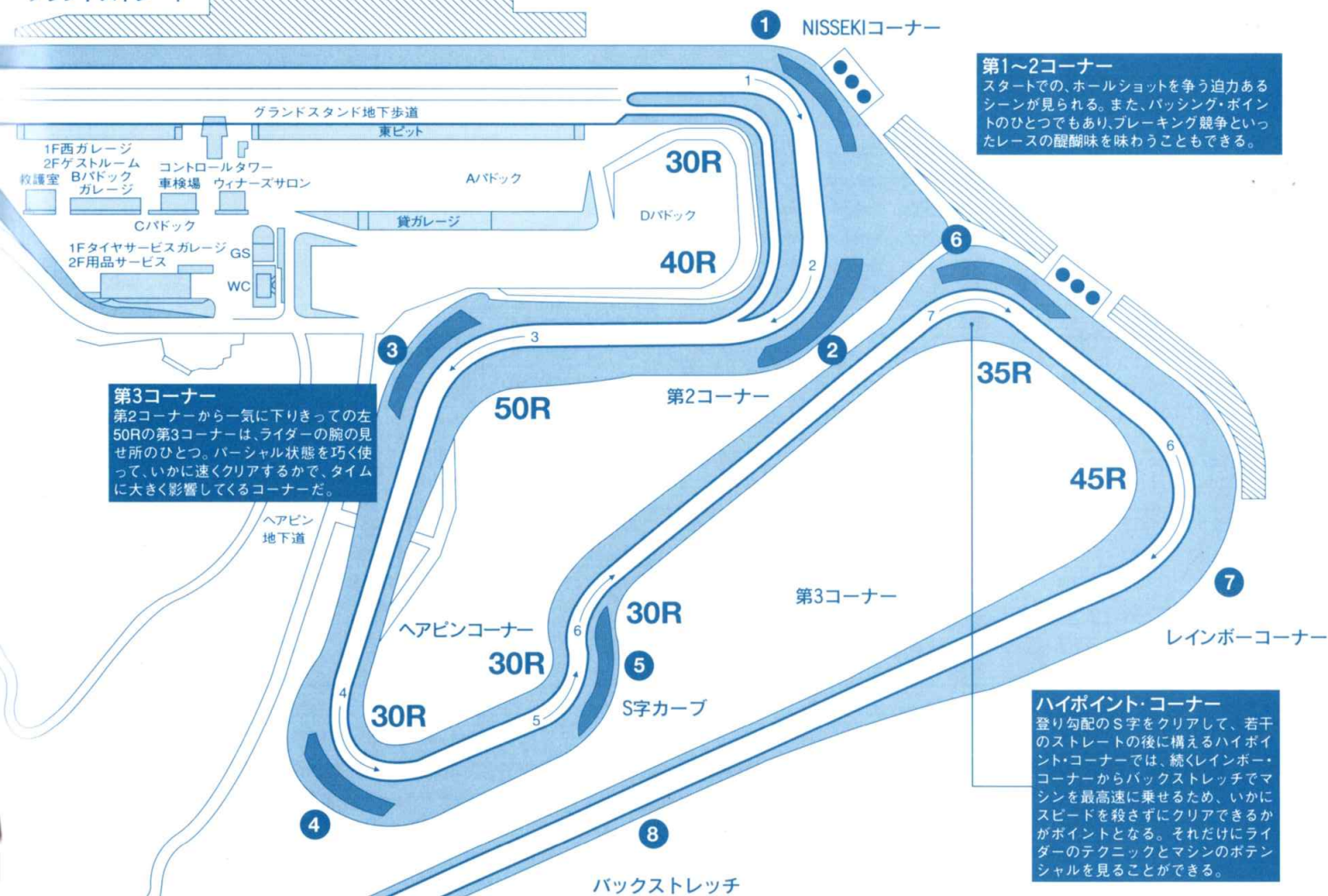
Racing Course

width:10.0~12.5m/Max.profile gradient:10.0%/Max.cross-section gradient:10.0%/Max.altitude difference:69.83m

グランドスタンド

スタート、そしてゴールの感動のシーンが間近で見られる他、各チームのピット・ボードを見ることができるので、レースの流れはもちろん、その作戦等も知ることができる。

グランドストレート



第1~2コーナー

スタートでの、ホールショットを争う迫力あるシーンが見られる。また、バック・ポイントのひとつでもあり、ブレーキング競争といったレースの醍醐味を味わうこともできる。

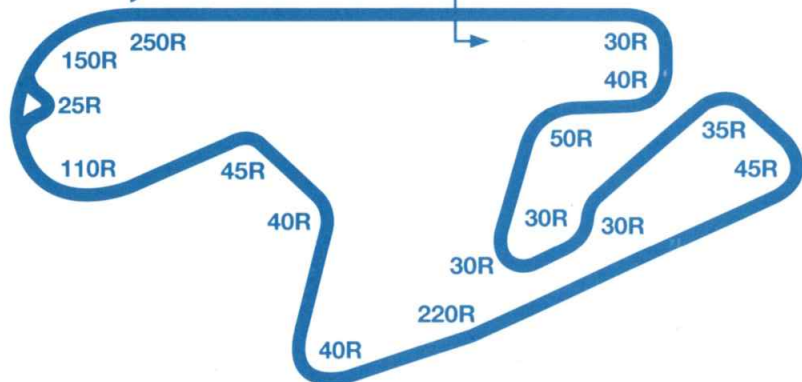
第3コーナー

第2コーナーから一気に下りきった左50Rの第3コーナーは、ライダーの腕の見せ所のひとつ。バーチャル状態を巧く使って、いかに速くクリアするかで、タイムに大きく影響してくるコーナーだ。

ハイポイント・コーナー

登り勾配のS字をクリアして、若干のストレートの後に構えるハイポイント・コーナーでは、続くレインボー・コーナーからバックストレッチでマシンを最高速に乗せるため、いかにスピードを殺さずにクリアできるかがポイントとなる。それだけにライダーのテクニックとマシンのポテンシャルを見ることができる。

3,737.50m



Super Cup/GP125

スーパーカップロードレース選手権イスタンシリーズ第16戦SUGO大会

決勝スタート:8月29日(日) 10:40/周回数:15周/レース距離:56km

コースレコード:1分38秒989 亀田勝太(H-RS125R) 1993年6月6日

ゼッケン NO.	ライセンス LICENSE	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	所属県 PREF.	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
1	IA	東 敬太 Keita Higashi	28	東京	H-RS125R	CRAFT ☆Itd&PRIDE-ONE
2	NA	木村 彰成 Akinari Kimura	26	埼玉	H-RS125R	エンデュランスRT
3	NA	大貫 努 Tsutomu Onuki	25	神奈川	H-RS125R	
4	NA	根本 直樹 Naoki Nemoto	26	茨城	H-RS125R	SPIELLEN FACTOR
5	NA	渡辺 慎二 Shinji Watanabe	23	東京	H-RS125R	オートボーイSP& リスキー
6	NA	伊藤健一郎 Kenichiro Ito	19	宮城	H-RS125R	JOG.RS.SUZUKIYA
7	NA	塚田 実 Minoru Tsukada	25	東京	H-RS125R	桜井ホンダグループ
8	NA	原 宣行 Nobuyuki Hara	26	東京	H-RS125R	チーム河島レーシングサブライ杉並
9	NA	山崎 重孝 Shigetaka Yamazaki	27	東京	H-RS125R	RTコシカワ八千代&FRRT
10	NA	林 達也 Tatsuya Hayashi	21	東京	H-RS125R	TEAM.ALICE
11	NA	秋田 貴志 Takashi Akita	19	神奈川	H-RS125R	TEAM.ALICE
12	NA	東谷 賢一 Kenichi Toya	28	東京	H-RS125R	ZX-1RACING
13	NA	大木 寿彦 Toshihiko Oki	25	栃木	H-RS125R	オヤケRP& オオキホンダ
14	NA	田村 俊和 Toshikazu Tamura	20	新潟	H-RS125R	RCドラスティック& MS金沢
15	NA	大塚 英二 Eiji Omuku	22	埼玉	H-RS125R	チーム チャウチャウ
16	NA	飯田 英男 Hideo Iida	25	茨城	H-RS125R	EAST-CORE
17	NA	菅谷 浩司 Koji Sugaya	24	茨城	H-RS125R	Team OSHIDA
18	NA	小川内宣彦 Yoshihiko Okouchi	22	宮城	H-RS125R	CLUB ita
19	NA	古川 芳久 Yoshihisa Furukawa	30	埼玉	H-RS125R	向陽会ドリームレーシングチーム
20	NA	八木 克典 Katsunori Yagi	23	静岡	H-RS125R	RTイシノ&呑兵衛
21	NA	伊藤 雅義 Masayoshi Ito	26	千葉	H-RS125R	チームピットクルーレーシング
22	NA	橋本 靖雄 Yasuo Hashimoto	20	山梨	H-RS125R	HARCPRO& バーラーセブン
23	NA	茂木 正行 Masayuki Mogi	28	福島	H-RS125R	クルーズレーシングチーム
24	NA	村林 匡 Tadashi Murabayashi	24	宮城	H-RS125R	NISSEKI & YOU SHOP よこえ森のくまさん
25	NA	掛江 裕二 Yuji Kakee	24	埼玉	H-RS125R	イナ・レーシングチーム!!
26	NA	斉藤 良一 Ryoichi Saito	25	埼玉	H-RS125R	ポツシュ東京プロジェクト!
27	NA	笹島 義久 Yoshihisa Sasajima	25	神奈川	H-RS125R	DinkyRacing
28	NA	山本 清司 Seiji Yamamoto	29	埼玉	H-RS125R	ブルーヘルメットM.S.C
29	NA	白旗 泰 Yasushi Shirahata	22	宮城	H-RS125R	TOWNS RACING
30	NA	加藤 智史 Satoshi Kato	23	埼玉	H-RS125R	Team PARCO 日本酒研究所
31	NA	赤間 清 Kiyoshi Akama	26	神奈川	H-RS125R	HARC-PRO&AZUMA
32	NA	佐藤 光輝 Koki Sato	23	東京	H-RS125R	TEAM高木☆BS&elf!!
33	NA	丸山 弘行 Hiroyuki Maruyama	22	埼玉	H-RS125R	ホンダスポーツ MOTOBUM
34	NA	渡部 伸 Shin Watanabe	22	埼玉	H-RS125R	狭山レーシング

予選A組

ゼッケン NO.	ライセンス LICENSE	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	所属県 PREF.	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
1	IA	伊東 忠孝 Tadataka Ito	24	宮城	H-RS125R	Team Kasai & 菊輪
2	NA	宮下 智 Satoru Miyashita	24	神奈川	H-RS125R	
3	NA	江沢 崇三 Takazo Ezawa	29	東京	H-RS125R	TEAM・i-FACTORY
4	NA	中島 一樹 Kazuki Nakajima	19	千葉	H-RS125R	オートボーイ & 吉野家松戸店▲K
5	NA	清水 潤也 Junya Shimizu	23	埼玉	H-RS125R	モトバムセクレテール& 弘明設備
6	NA	福田 努 Tsutomu Fukuda	28	神奈川	H-RS125R	TEAM コモド&ALF
7	NA	菱山 浩史 Koji Hishiyama	23	宮城	H-RS125R	ウィリーレーシング
8	NA	鈴木 繁 Shigeru Suzuki	26	山形	H-RS125R	福岡モトスポーツサトウ&NEW FREN&BP
9	NA	鎌田 英紀 Hideki Kamata	21	岩手	H-RS125R	SS浅沼RT一賢 設計事務所
10	NA	幸田 博仁 Hirohito Koda	25	東京	H-RS125R	KS, CROSS-Jha
11	NA	野沢 昌弘 Masahiro Nozawa	24	栃木	H-RS125R	クルーズレーシングチーム
12	NA	田中 良 Ryo Tanaka	23	東京	H-RS125R	TEAM.ALICE
13	NA	長島 竹人 Takehito Nagashima	27	東京	H-RS125R	
14	NA	辺見 岳久 Takehisa Henmi	23	栃木	H-RS125R	丸新トランスポート&T・i-F
15	NA	赤沼 弘一 Koichi Akanuma	21	埼玉	H-RS125R	FineRacing Fukusuke House
16	NA	伊藤 哲也 Tetsuya Ito	32	埼玉	H-RS125R	チーム・レオス
17	NA	神田 良広 Yoshihiro Kanda	26	福島	H-RS125R	NEWFREN 会田車体&M'S

予選B組

ゼッケン NO.	ライセンス LICENSE	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	所属県 PREF.	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
18	NA	猪瀬 修 Osamu Inose	23	栃 木	H-RS125R	TEAM・i-FACTORY
19	NA	豊崎 隆一 Ryuichi Toyosaki	23	茨 城	H-RS125R	EAST-CORE
20	NA	原田 伸也 Shinya Harada	21	千 葉	H-RS125R	FASTESTDEVIL 韋駄天
21	NA	更科 裕樹 Yuki Sarashina	27	宮 城	H-RS125R	MOTO FAST RT 根岸オート
22	NA	山田 実 Minoru Yamada	27	千 葉	H-RS125R	オートボーイ&吉野家RC北小金
23	NA	田中 和雄 Kazuo Tanaka	25	東 京	H-RS125R	レーシングTEAM高木&elf
24	NA	持田 仁 Hitoshi Mochida	25	埼 玉	H-RS125R	モト・スポーツ&深谷レーシング
25	NA	昆野 元雄 Yukio Konno	23	埼 玉	H-RS125R	ROAD Walker (S) & アンフィニHONDA・針生
26	NA	太田 寛 Yutaka Ota	24	埼 玉	H-RS125R	ブルーヘルメット M.S.C
27	NA	米井 茂之 Shigeyuki Yonei	22	東 京	H-RS125R	ファニー&クルーズ+ステラ+ドラスティック
28	NA	前田賢一郎 Kenichiro Maeda	24	埼 玉	H-RS125R	
29	NA	須田 淳一 Junichi Suda	30	東 京	H-RS125R	KEPLA&サンエイ企画
30	NA	岡田 伸明 Nobuaki Okada	23	埼 玉	H-RS125R	POSH東京プロジェクト
31	NA	竹野 裕幸 Hiroyuki Takeno	27	埼 玉	H-RS125R	CLUB1.2FK
32	NA	広田 一志 Hitoshi Hirota	22	宮 城	H-RS125R	クルーズレーシングチーム!!
33	NA	松永 弘志 Hiroshi Matsunaga	19	千 葉	H-RS125R	テクニカルスポーツ関東
34	NA	菅野 浩志 Koji KANNO	22	埼 玉	H-RS125R	Fine Racing & カミユ!

ゼッケン NO.	ライセンス LICENSE	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	所属県 PREF.	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
1	NA	近藤 篤志 Atsushi Kondo	22	埼 玉	H-RS125R	エンデュランスRT
2	NA	亀田 勝太 Masataka Kameda	22	栃 木	H-RS125R	オヤケレーシングプロジェクト
3	NA	今野 勉 Tsutomu Konno	23	宮 城	H-RS125R	TEAM KASAI※佐川急便
4	NA	横山 充利 Mitsutoshi Yokoyama	23	新 潟	H-RS125R	WING高橋&長岡TRC
5	NA	大石 和矢 Kazuya Oishi	23	東 京	H-RS125R	ウイングよしいサムシステムRT
6	NA	民 哲三 Tetsuzo Tami	24	茨 城	H-RS125R	RACINGSUPPLY
7	NA	荘 幸二郎 Kojiro Sho	24	東 京	H-RS125R	TEAM高木&R.S.爆弾と内外钣金
8	NA	有田 充伸 Mitsunobu Arita	24	千 葉	H-RS125R	Team 舩斗雲
9	NA	伊東 哲 Satoshi Ito	25	東 京	H-RS125R	RACING SUPPLY & TRUST☆ONE
10	NA	中川 実 Minoru Nakagawa	25	東 京	H-RS125R	モトバム
11	NA	森 秀夫 Hideo Mori	24	茨 城	H-RS125R	EAST-CORE
12	NA	永塚 良典 Yoshinori Nagatsuka	25	茨 城	H-RS125R	TEAM・i-FACTORY
13	NA	森 直樹 Naoki Mori	25	東 京	H-RS125R	TEAM.ALICE
14	NA	大関 真吾 Shingo Ozeki	24	神奈川	H-RS125R	ライダーズサロン横浜
15	NA	開原 敏博 Toshihiro Kaibara	22	静 岡	H-RS125R	みつわ&シンクス!ワールド川口
16	NA	稲辺 隆 Takashi Inabe	25	宮 城	H-RS125R	ウイリーレーシングチーム!!
17	NA	野村 大三 Daizo Nomura	25	東 京	H-RS125R	RCドラスティック&和泉商会
18	NA	沼口 整史 Yoshihito Numaguchi	26	東 京	H-RS125R	サポートブランニング&サムシステム
19	NA	辻 修 Osamu Tsuji	23	千 葉	H-RS125R	RACING SUPPLY 舩斗雲
20	NA	谷川 壮洋 Takehiro Tanigawa	26	栃 木	H-RS125R	プロスキル&RPタニガワ&アズ
21	NA	中沢 寿寛 Toshihiro Nakazawa	22	東 京	H-RS125R	T.高木.BS&elfとニンジンハウス!!
22	NA	高橋 一夫 Kazuo Takahashi	26	栃 木	H-RS125R	オヤケRPヴィクトリーズ
23	NA	佐藤 泰晃 Yasuaki Takahashi	24	埼 玉	H-RS125R	チーム高木 & ブライトンR
24	NA	太田 江 Ko Ota	25	宮 城	H-RS125R	Road Walker's
25	NA	荒木 満 Mitsuru Araki	27	神奈川	H-RS125R	Dinky+OGK&AZUMA
26	NA	入野 博昭 Hiroaki Irino	22	埼 玉	H-RS125R	斉藤組NRレーシング田中ENG
27	NA	橋田 啓行 Keiko Hashida	24	東 京	H-RS125R	HARC-PRO&AZUMA
28	NA	野口じゅん子 Junko Noguchi	27	埼 玉	H-RS125R	Team MARI
29	NA	酒井 雅章 Masaaki Sakai	21	茨 城	H-RS125R	OX-RACING TEAM
30	NA	和田 康宏 Yasuhiro Wada	24	静 岡	H-RS125R	ワールドカワグチRT
31	NA	市村 泰宏 Yasuhiro Ichimura	24	千 葉	H-RS125R	チーム舩斗雲
32	NA	鈴木 健 Ken Suzuki	22	埼 玉	H-RS125R	MOTO. IVY
33	NA	秋山正二郎 Shojiro AKIYAMA	25	神奈川	H-RS125R	クルーズレーシングチーム
34	NA	宮崎 秀夫 Hideo MIYAZAKI	24	千 葉	H-RS125R	千葉日石 RACING

Super Cup/SS750

スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ第16戦 SUGO 大会

決勝スタート:8月28日(土) 16:20 / 周回数:15周 / レース距離:56km

コースレコード:1分36秒447 藤坂浩二(K-ZXR750R) 1992年8月30日

ゼッケン NO.	ライセンス LICENSE	ライダー名 RIDER	年齢 AGE	所属県 PREF.	マシン名 MACHINE	チーム名 TEAM
3	IA	田中 陽 Akira Tanaka	27	静岡	Y-YZF750	YESS.磐田レーシング.F
10	NA	高野 茂宏 Shigehiro Takano	27	東京	S-GSXR750RW	TEAM SRS KUBO
11	IA	林 雅之 Masayuki Hayashi	22	千葉	Y-YZF750	PJ1 スガヤスピードRT
15	NA	谷口 仁 Hitoshi Taniguchi	30	栃木	Y-YZF750	コンパニオンフレンド R.T
17	NA	松瀬 将志 Masashi Matsuse	27	東京	K-ZXR750	TEAM Dr.SUDA
19	NA	小澤 紀義 Noriyoshi Ozawa	26	栃木	Y-YZF750	チーム モトハウス松本&シンワ
21	IA	阿部 徹郎 Tetsuro Abe	28	宮城	Y-YZF750	PJ1・スガヤスピードRT
22	IA	若林 芳典 Yoshinori Wakabayashi	25	神奈川	Y-YZF750	PJ1 スガヤスピードRT★若林
23	IA	谷村 英樹 Hideki Tanimura	25	福島	Y-YZF750	クラブ ita
24	IA	山中 正之 Masayuki Yamanaka	25	神奈川	H-VFR750	レーシングチーム ハニービー
25	NA	佐藤 貴良 Kiyoshi Sato	23	神奈川	S-GSXR750R	やあ!オレ新加勢大周ヨロシクな
26	NA	津之浦啓之 Hiroyuki Tsunoura	25	埼玉	Y-FZR750R	CLUB1.2FK
27	NA	丸山 匠 Takumi Maruyama	28	東京	K-ZXR750R	TEAM 平55m's&星の下RSC
28	NA	高野 弘毅 Hiroki Takano	27	茨城	Y-YZF750	CLUB TT-III
29	NA	鳥取 克裕 Katsuhiko Tottori	25	埼玉	K-ZXR750R	
30	NA	白井 幸夫 Yukio Shirai	32	東京	Y-FZR750R	アングルレーシングYSP下丸子
31	NA	梅澤 正 Masashi Umezawa	25	埼玉	K-ZXR750	デルタスポーツ
32	NA	小出 恵三 Keizo Koide	26	奈良	S-GSX-R750WN	シマ・エンタープライズ
33	NA	松原 泉 Izumi Matsubara	24	埼玉	K-ZXR750R	グリーンクラブ&PB きむら
34	NA	林 宗俊 Munetoshi Hayashi	28	静岡	Y-FZR750R	POWER LAND&APEX
35	NA	中村 保 Tamotsu Nakamura	23	東京	Y-OW-01	チーム RS KATAKURA
36	NA	福田 英 Suguru Fukuda	24	群馬	K-ZXR750	ライムグリーン&T-BIRD
37	NA	高野 辰美 Tatsumi Takano	29	宮城	Y-YZF750	CLUB ita
38	IA	長谷川健児 Kenji Hasegawa	31	千葉	H-CBR600	TEAM-CBX
39	NA	伊藤 幸二 Koji Ito	25	福島	Y-FZR750R	ミシナレーシング&しのぶ食品
40	NA	吉井 恭一 Kyoichi Yoshii	29	埼玉	H-RC30	向陽会ドリームレーシングチーム
41	NA	飯村 淳一 Junichi Iimura	23	東京	Y-YZF750	
42	NA	岡田 洋一 Yoichi Okada	22	岡山	K-ZXR750	姫路カワサキKAZEクラブ
43	NA	仁賀 基文 Motofumi Niga	21	京都	K-ZXR750R	KAZE ミスターヒロ&ベルセ
44	NA	中根 浩 Hiroshi Nakane	31	茨城	K-ZXR750R	カクビシャRT えちごや
45	NA	尾高 弘訓 Hironori Odaka	29	神奈川	Y-YZF750	PRIZE&ビーバーハウス
46	IA	富田 信道 Nobumichi Tomita	25	栃木	Y-YZF750	MST&ステーキきらく
47	NA	鈴木 晴雄 Haruo Suzuki	26	千葉	Y-YZF750	team CLOUD スピード企画
48	IA	小倉 政昭 Masaaki Ogura	28	福島	Y-YZF750	ミシナレーシング&アグリテクノ
49	NA	吉岡 俊也 Toshiya Yoshioka	30	神奈川	K-ZXR750R	
50	NA	藤枝 浩樹 Hiroki Fujieda	27	埼玉	H-VFR750R	チーム チャウチャウ
51	NA	横尾 康一 Koichi Yokoo	27	神奈川	H-VFR750R	サニータイヤワークスとASS!
52	NA	杉山 昌広 Masahiro Sugiyama	28	静岡	Y-YZF750	FORM&浜松ヒロRT
53	NA	原野英一郎 Eiichiro Harano	27	埼玉	K-ZXR750R	グリーンクラブRSIチームハラノ
54	NA	青柳 幸広 Yukihiro Aoyanagi	21	大阪	Y-OW-01	スイフトレーシング G
55	NA	桧吉 太郎 Taro Hiyoshi	23	東京	K-ZXR750R	グリーンクラブ&P・B きむら
56	NA	清水 光則 Mitsunori Shimizu	27	埼玉	Y-FZR750R	CLUB1.2FK
57	NA	安田 敏隆 Toshitaka Yasuda	29	埼玉	H-VFR750R	CLUB1.2FK
58	NA	佐藤 尚幸 Naoyuki Sato	25	奈良	Y-YZF750	シマ・エンタープライズ
59	NA	高橋 宏 Hiroshi Takahashi	25	栃木	K-ZXR750R	T-CRAFT&MONSTER
60	NA	岡田 聡 Satoshi Okada	28	神奈川	Y-YZF750	スポーツライダー&天重梅の家
61	NA	佐藤 仁郎 Jiro Sato	25	栃木	H-VFR750R	Jsクラブ&MST
62	NA	清水 匠 Takumi Shimizu	27	神奈川	Y-YZF750	ケンタウロス&モンスター
63	IA	蒔田 正康 Masayasu Makita	29	福島	Y-YZF750	川上システム販売コーヒービエロ
64	NA	富岡 琢麿 Takuma TOMIOKA	27	千葉	Y-YZF750	オートサービス斉藤 & MS アリス
65	NA	青谷 由美 Yoshimi AOYA	22	茨城	K-ZXR750	グリーンクラブ & RS イトウ



レースがあれば。



スーパースポーツリアル
プロダクションレース用

007A

NEW GETTAR 008

レーシングレベルのグリップ性を確保しながら、
耐摩耗性をもあわせて向上。
スーパースポーツ・ツアラー、GETTAR 008新登場。

SIZE ● FRONT ● 110/70R17 54H ● REAR ● 150/60R17 66H・160/60R17 69H
120/60R17 55H 150/60R18 67H・140/70R17 66H
110/80R17 57H 140/70R18 67H

新開発ハイスportsコンバウンドを採用。あの「フルバンクグリップ」007Aの、強大なトライグリップを受け継ぐと同時に、耐摩耗性をも大きくアップ。さらに、高い直進排水性を発揮するV字型方向性センターブロック。そして中間バンク時の排水性を高め、ウェットコーナリング性能を大きく向上させるブーメラン型スラントグループなど、排水メカニズムを徹底的にシミュレートした、YOKOHAMA独自のパターンテクノロジーをフィーチャ。GETTAR 008。それはサーキット直系のコーナリング性能を、そして優れたウェット性・耐久性をほしいまにする、進化型スポーツ・ツアラー。

RACING SLICK 600

RACING RAIN 610



HIGH PERFORMANCE MC "RADIALS" FROM MOTORSPORT

GETTAR

Rider Profile



④ Carl Fogarty

カール・フォガティ

DUCATI

GREAT BRITAIN



TTフォーミュラ・レースで88年から90年まで3年連続でチャンピオンを獲得するなど、4ストローク・マシンのスペシャリスト。しかし、スーパーバイクにスイッチしてからは、彼本来の実力からすれば今ひとつ伸び悩んでいたといえるだろう。昨年はカワサキそしてドゥカティのセミ・ファクトリー体制の下でマシンを走らせるが、優勝1回、2位1回と表彰台は僅かに2回得るに止まり、トータル・ポイント134でランキング9位に終わる。今年、開幕と同時にファクトリー体制の下でドゥカティを駆ることになり、その真価が問われるシーズンとなりそうだが、第2戦の第1レースで2位、そして第3戦では両ヒート共に完全勝利を収め、いよいよ本領を発揮し始めている。



⑤ Fabrizio Pirovano

ファブリツィオ・ピロバーノ

YAMAHA

ITALY



スーパーバイク世界選手権がスタートした88年、優勝こそ1回のみであったが、その他のレースで着実にポイントをゲットし、ランキング2位を獲得。以来、ヤマハ・マシンを駆り、89年は優勝1回、2位3回を得るなどランキング3位、そしてこの躍進は90年以降も続き、91年にはドゥカティに道を阻まれランキング5位に終わるものの、今ではスーパーバイク世界選手権の顔となっている。昨シーズンは、ドゥカティの猛威とロブ・フィリスのカワサキに敗れる形となってしまったが、全24レース中、9回の表彰台ゲットはさすがといえる。今年も再びドゥカティを前に苦戦を強いられているが、第2戦の第1レースで2位、さらに第4戦の第1レースで3位を獲得するなどベテランの味を遺憾なく発揮している。



⑥ Aaron Slight

アーン・スライト

KAWASAKI

NEW ZEALAND



ロブ・フィリスがオーストラリアのスーパーバイク選手権に戦いの場を移したため、今年スコット・ラッセルと共にカワサキの屋台骨を支えることになった。一昨年末では、輝かしい成績を収めるまでには至らなかったが、昨シーズンの初戦第1レースでいきなり優勝し、一気にその頭角を現わす。その後、表彰台は3位を3回獲得し、トータル・ポイント249で堂々のシングル・ゼッケン、ランキング6位をゲット。期待の掛かる今年は、第3戦の第1レース2位、同第2レース3位と連続表彰台を獲得。また、その他のレースでも着実に上位に食い込むライディングを見せており、シリーズ第5戦終了時点でチーム・メイトのスコット・ラッセルに次ぐランキング3位につけている。



Rider Profile



7 Stéphane Mertens
ステファン・メルテンス
DUCATI BELGIUM

スーパーバイクが世界選手権としてスタートした88年に、3位1回を獲得するなど安定した走りを見せ、ランキング4位を獲得。翌89年には、優勝3回、2位2回、3位4回と見事な活躍を見せて一躍スターダムに。翌90年になると、マシンをドゥカティにスイッチするが、これを見事に乗りこなしてランキング4位。しかし、昨年はトラブルに泣かされ続け、2位4回、3位1回と表彰台に立つものの、一度も優勝できないという不本意なシーズンとなってしまった。

復活をかける今シーズンだが、初戦の第2レースそして第3戦の第2レースでのそれぞれ4位を最高位に、第5戦終了時点で未だに表彰台には立っていない。シリーズ誕生と同時に活躍を見せていたライダーなだけに、一日も早い復活を期待したいところだ。



9 Giancarlo Falappa
ジャンカルロ・ファラッパ
DUCATI ITALY

91年ランキング10位、そして92年にはドゥカティのファクトリー・チームの一員として優勝3回、2位2回、3位3回と飛躍的な活躍を見せてランキング4位を獲得。さらに、ドゥカティ・ファクトリーのエースとなった今年、初戦でいきなり両レースで完全勝利を収めると、続く第2戦の第1レースでも優勝。さらに第4戦では再び両レースを制し、翌第5戦の第2レースで優勝と、第5戦終了時点で手のつけられない速さとともにポイント・リーダーに立っている。

昨年までの激しすぎるライディングは、度重なる転倒を招く結果となっていたが、今年はその激しさに安定性が加わり、それが現在の躍進の要因となっているようであるが、第5戦終了時点で、全10レース中7回の表彰台は、まさに絶好調といえるだろう。



10 Piergiorgio Bontempi
ピエルジョルジョ・ボンテンピ
KAWASAKI ITALY

昨シーズン前半、ポイント圏内には入るものの、ビッグ・ポイント獲得には至らなかった。しかし、シーズン後半になるとマシンにも馴れ、徐々に実力を発揮。第11戦の地元イタリアでの第1レースで4位を獲得すると、一気に勢いづいて続く第2レースでは3位表彰台をゲット。そして第12戦オーストラリアでの第1レースで8位、第2レースで7位、さらに最終戦の第1レースでも7位に入り、ポイントを伸ばすと、ランキング10位を獲得した。

今シーズンは、第2戦ドイツでの第2レースで9位に入ると、昨シーズン後半での調子を取り戻し、第3戦ドイツでの第1レースで再び8位表彰台に立つ。ライディングに着実性が増せば、タイトル争いに加わってくる可能性は高い。



Rider Profile



11 Scott Russell

スコット・ラッセル
KAWASAKI U.S.A.

88年にAMAスーパーバイク選手権に参戦し、91年には早くも同選手権ランキング2位を獲得。さらに翌92年のデイトナ200マイル・レースで優勝するなど、栄光への道を着実に歩んでいるといえる。

スーパーバイク世界選手権への本格的な参戦は今年からということになるが、昨年すでにイギリスとベルギーのレースで表彰台は体験済み。そして今年の初戦の第1、第2レースでそれぞれ2位と好調な滑り出しを見せると、続く第2戦の第1レースで優勝。さらに第3戦の第2レース2位、第4戦の第2レース2位、第5戦の第1レース3位と、常に上位進出を果たし、第5戦終了時点でポイント・テーブルでトップを行くファラッパを、4.5ポイントという僅差で追い掛けている。



14 Christer Lindholm

クリスター・リンドーム
YAMAHA SWEDEN

スポット参戦の一昨年から、昨年はフル・シーズンを戦いランキング14位を獲得。その昨年は、第5戦ハラマでの第1レースで7位に入ったのがベスト・リザルトであったが、同第2レースで9位、さらに第7戦サンマリノの第1レース10位、同第2レース8位と着実なポイント・ゲットでランキング14位を獲得している。フル参戦2年目の今シーズンは、一層の飛躍が期待されるが、第2戦ドイツでの第1レースで9位、同第2レースで13位、さらに第3戦のスペインの第1レースで13位に入るものの、昨年を上回る成績を収めるには至っていない。果たしてこのSUGOでどのような成績を収め、さらに後半戦に弾みをつけていくのか、これからのライダーであるだけに、その一戦一戦から目が離せないといえるだろう。



17 Baldassarre Monti

バルダサーレ・モンティ
DUCATI ITALY

元世界GPライダー、マルコ・ルッキネリの子弟のひとり。89年にドゥカティのファクトリー・チームからスーパーバイク世界選手権に出場。初年度ながらランキング8位を得る活躍を見せた。

翌90年になるとチームを移籍。同時にマシンもホンダへとスイッチして、SUGOでの第1レース2位、同第2レースで3位に入る活躍を見せたが、これがこの年のベスト・リザルトとなり、結果前年と同じくランキング8位を獲得している。しかし、その後は苦戦を強いられ、92年には初戦の第1レースで6位に入るものの、これが同年の最高位となり、トータル・ポイント41で、ランキングも17位と低迷。今年はマシンを再びドゥカティに代え、本来のアグレッシブなライディングの復活を目指す。



Rider Profile



20 Jeffrey De Dries
ジェフリー・ドゥヴリス
YAMAHA HOLLAND

91年からスーパーバイク世界選手権に本格的に参戦し、ランキング12位を得ているが、地元のオランダでは88年、89年とTTF1そして750クラスで他を圧する速さを見せ付けていただけに、その期待は大きい。昨シーズンは第7戦サンマリノの第2レースで10位を獲得したのがベスト・リザルトとなり、トータルで31ポイントを稼ぎ、ランキング20位となった。今シーズンは、第2戦ドイツの第1レースで11位、続く第3戦スペインの第2レースで15位に入ると、第4戦では第1、第2の両レースでそれぞれ11位と12位を獲得して調子上げる。そして第5戦の第1レースで7位、続く第2レースで15位と再び両レースでポイントを得る活躍を見せている。



27 Fred Merkel
フレッド・マーケル
DUCATI U.S.A.

88年のスーパーバイク世界選手権の初代チャンピオンであるのと同時に、89年にもタイトルを収め、2年連続でその栄冠を手に入れている。しかし、90年の鈴鹿8時間耐久レースに出場した際、フリー走行で転倒すると首の骨を折り、この年のタイトル争いからは脱落してしまった。再起を掛けた91年シーズンだったが、ドウカティ等の躍進の前にタイトル争いに加わることなくランキング8位。92年にはマシンをホンダからヤマハへとスイッチするが、ここでも思うように成績が残せず、トータル・ポイント65で、ランキングも13位と低迷してしまった。93年シーズンは、未だ表彰台には立っていないが、第4戦からマシンをドウカティに換え、巻き返しを狙っている。



32 Terry Rymer
テリー・ライマー
YAMAHA GREAT BRITAIN

スーパーバイク世界選手権のスタートした88年、まったくのプライベートでありながら、ランキング10位を獲得する活躍を見せた。翌89年からはロックタイト・ヤマハからのエントリーとなり、初戦の第1レース3位、同第2レース2位と好調なスタートを切ると、一気にトップコンデンターの仲間入りを果たす。昨92年シーズンはカワサキそしてドウカティを乗り継ぐことになるが、奮わずにランキング33位と低迷。そして、復活を期す今シーズンは、初戦の第2レースで5位、第2戦の第1レースで8位、続く第3戦の第1、第2レースでそれぞれ7位と9位に、さらに第4戦の第1、第2レースでもそれぞれ9位に入るなど着実にポイントを得て、その兆しを見せている。



Rider Profile



34 Mauro Lucchiari
マウロ・ルッキアリ
DUCATI ITALY

今シーズンからスーパーバイク世界選手権にエントリーするが、その第1戦アイルランドでは、雨というバッド・コンディションの中、トップからは大差をつけられたものの、第1レースで13位、第2レースでは12位と、いきなり両レースでポイントを得て、幸先の良い滑り出しを見た。続く第2戦はノー・ポイントに終わるものの、第3戦のスペインでは、再び第1レースで12位、第2レースで10位とポイントを獲得する。そして第4戦のサンマリノの第1レースでは、スタート後にトップを走る活躍を見せ、結果こそ2位となったものの、そのセンスの良さをアピールした。また、続く第2レースでも、その余勢をかって4位入賞。さらに第5戦オーストリアの第2レースでは5位入賞を果たし、一気にその頭角を現わし始めている。



37 Herve Moineau
エルブ・モアノー
SUZUKI FRANCE

80年にホンダ・マシンを駆り、世界耐久選手権の初代チャンピオンに輝くと、その後はスズキに移籍し、83年、87年、88年と同タイトルを獲得し、キング・オブ・エンデュランスとしてその名を馳せる。また、84年には世界GP500クラスにもチャレンジし、カシバに初ポイントをもたらすなど、2ストローク・マシンにも器用な順応性を示している。昨シーズンは耐久レースを戦いながらスーパーバイクにもエントリーしていたが、今シーズンは所属していたフランス・スズキが耐久レースから撤退してしまったため、本格的に戦いの場をスーパーバイクに移す。果たして耐久での走りが、スプリント・レースでどこまで戦えるか注目を集めている。74年の初レース以来、実に19年目のシーズンを戦うベテラン・ライダーだ。



24 Shoichi Tsukamoto
塚本 昭一
KAWASAKI JAPAN

86年にモトクロスレースからロードレースへ転向、89年に国際A級に昇格する。そしてこの年、全日本TTF1クラスにエントリーし、ランキング9位を獲得。また、同年のル・マン24時間耐久レースにも参戦し、3位表彰台に立っている。91年には同ランキング5位、そして昨シーズンはカワサキに念願のTTF1タイトルをもたらした。今シーズン序盤は、やや不調の感はあるが、それも徐々に調子は上向いており、表彰台の常連となりつつある。また、全日本TTF1は今シーズンがラスト・イヤーで、来季からスーパーバイクに移行するため、果たしてこのスーパーバイク世界選手権でカワサキがどのようなマシンを投入し、そして開発という重責を担う塚本がどのような方向性を見出すかも、来季を占う意味で注目される所だ。



Rider Profile



40 Keiichi Kitagawa

北川 圭一

KAWASAKI

JAPAN



87年の4耐で2位、そして89年の6耐で優勝と、輝かしい実績を持つ北川も、今年で国際A級3年目のシーズンを迎えている。昨年は、カワサキ・ファクトリーのサテライト・チームともい

うべきチーム・グリーンから、スーパーバイク仕様のZXR750Rを駆り全日本TTF1にエントリー。最終戦で塚本に敗れ、惜しくもタイトルは逸したが、1回の優勝と4回の表彰台という活躍は、その名を一躍知らしめるに十分なシーズンとなった。そして今年、カワサキ・ファクトリー入りしてTTF1マシンZXR-7を駆り全日本を戦うが、リタイアに終わった第6戦を除き、優勝1回そしてその他のレースでも2位に、さらに第2戦から第7戦まで5連続ポール・ポジション（第5戦は中止）を獲得するなど、目下絶好調だ。



31 Shinichiro Imai

今井 伸一郎

KAWASAKI



JAPAN

89年に国際A級に昇格。以来、コンストラクターズ・マシン、モリワキZero-VX7の開発を手懸ける。92年からカワサキ系チーム、月木レーシングへ移籍し、同じくTTF1クラスを戦う。来季のスーパーバイク・シリーズに向け、準備に余念のないライダーのひとりだ。



43 Masato Mogi

茂木 正人

KAWASAKI



JAPAN

90年の国内A級250クラスで、シリーズ・ランキング3位を獲得すると、翌91年に国際A級に昇格し、今年で3年目のシーズンを迎える。昨年のパンパシフィック選手権日本ラウンドでは6位に入る活躍を見せているが、全日本TTF1クラスでは、ランキング23位に止まっている。



41 Shoji Miyazaki

宮崎 祥司

KAWASAKI



JAPAN

88年そして91年の全日本TTF1チャンピオン。92年からカワサキへ移籍するが、転倒による怪我で、昨年から思うようなシーズンを送っていない。しかし、ホンダに在籍時からマシンの開発能力は高く評価されており、来季へ向けてのカワサキのスーパーバイク・マシンの開発に余念がない。



52 Katsuyoshi Takahashi

高橋 勝義

YAMAHA



JAPAN

TTF3の最終年となった91年に、そのタイトルを獲得。翌92年からはチーム・タイラに移籍し、全日本500クラスにエントリーする。未だ表彰台には立っていないが、今後の活躍が期待されるライダーだ。今年の8耐では久々に4ストローク・マシンにまたがり、スムーズな走りを披露している。



SPORTS

ENGINE

2-Stroke, Watercooled V4, YPVS,

Crankcase reed valve

DISPLACEMENT

499cc

MAXIMUM POWER

170ps

IGNITION

CDI

SUSPENSION

Front:Telescopic

Rear:Monocross

WHEEL SIZE

Front:17inches

Rear:17inches

BRAKES

Front:Double Disc

Rear:Single Disc



SUGO Formula



SUGO Formula



SUGO Formula

ENGINE

4-Stroke, Watercooled In-line 4,

DOHC, 5-valves

DISPLACEMENT

749cc

MAXIMUM POWER

Over 150ps

SUSPENSION

Front: Telescopic

Rear: Monocross

WHEEL SIZE

Front: 17 inches

Rear: 17 or 18 inches

BRAKES

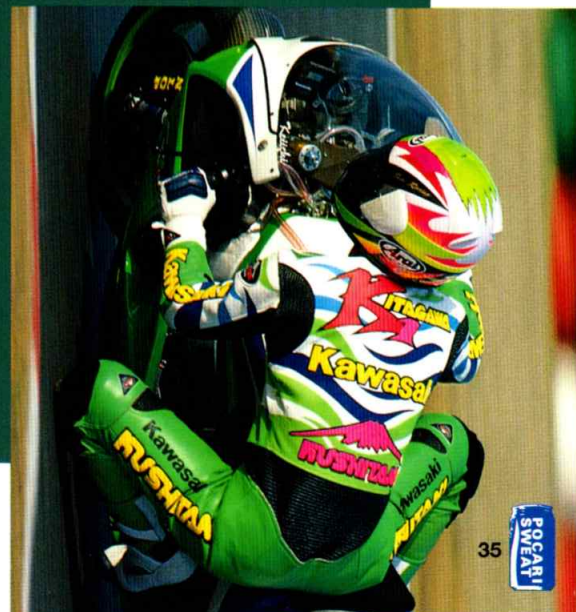
Front: Double Disc

Rear: Single Disc

SUGO Formula

SUGO Formula

SUGO Formula





TTF1 W.Yoshikawa



T.Honma

N.Abe

K.Iwahashi



史上初 GP-500 VS TT-F1

今回のスーパーバイク世界選手権のエキシビジョン・レースとして、まさに夢の対決が実現する。そう、全日本ライダーによるGP500 vs TTF1 がそれだ。

テクノロジーの粋を集めたGP500マシンに対し、あくまでも市販車改造という制限を持つTTF1マシン。単純に考えればGP500マシンが圧倒的有利だが、あながちそうとも言い切れない現実がある。それは、今年SUGOで行なわれた全日本選手権シリーズにオフィシャル・リザルトとして記録されているのだが、第3戦のSUGOでGP500のポール・シッター阿部典史がマークしたタイム

が1分31秒298であるのに対し、TTF1のポール・シッター北川圭一は1分31秒614と、ほぼ同等のタイムをマークしている。同様に第7戦SUGOでも、GP500のポール・シッター本間利彦のタイムに、TTF1のポール・シッター北川は、約1秒落ちのタイムをマークしているのだ。

もちろんこれは、同一時間内にタイム・アタックが行なわれたわけではないので、あくまでも参考タイムでしかないが、その差は確実に縮まってきており、こうなれば俄然、同一条件下での戦いが興味深くなってくる。これまで、TTF1マシンは、GP500マシンの

SUGO Formula



GP500 K.Magee



GP500 K.Iwahashi



TTF1 Y.Nagai



GP500 N.Abe

タイムをひとつの目標として開発が行なわれてきたが、急ピッチに進むマシンの軽量化、そしてパワー・アップに伴い、ここに至りひとつの答えが出されたといえる。

さて、それではこの歴史的バトルのどこに注目すればよいのだろうか。そう、ストレートでは圧倒的なパワーを誇るGP500マシンの独壇場になるだろうが、コーナーでは、ピーキーで扱いにくい2ストロークGP500マシンに対し、よりマイルドなエンジン特性を持つ4ストロークTTF1マシンが、その主導権を握るといった、歴史的シーンが見られるかも知れない。

さらに、コーナーでは、そのアプローチの仕方やライン取りなど、そこには日頃見ることのできない、2ストロークマシンと4ストロークマシンのそれぞれの特性の違いを、同時に見ることができる。

そしてもうひとつ気になるのがライダーの心理状態。いくらTTF1マシンが迫るタイムをマークしているからとはいえ、GP500ライダーには最高峰マシンを扱うライダーとしてのプライドがある。一方のTTF1ライダーも、レースを戦う以上、みすみすGP500マシンの後塵を拝するわけにもいかない。むしろGP500を負かして大金星を挙げようと、虎

視眈眈とその隙を伺っているのが現状だろう。果たして、この心理状態の差がどのような結果に結びつくかも注目したい。これまで、単純にどちらが速いのか、という疑問は投げ掛けられてはいたが、マシン特性の違いから混走は危険とされ、そのテーマは永遠に封印されると思われていた。しかし、そのレースが、今、実現する。もちろんエキシビション・レースではあるが、このレースでの勝者が、名実共に「日本一速いライダー」の栄誉を掴む事実が変わりはない。果たして軍配はGP500かTTF1か、そして誰に上がるのだ。

Welcome to The Snap-on World

A DAY AT THE RACES

1993

SNAP-ON THERE

RACING

SNAP-ON[®]

ESTABLISHED IN 1920

レースファンは知っている...

苛酷なレースシーンにおいてドライバーはもちろん、メカニックにとっても一分一秒を争う世界が展開しています。一つのミスが致命傷にもなってしまうメカニックにとっては信頼できるツールは何にもまして重要なものです。現在、数多くのメカニック達に愛用されているスナップオンのツール。創業以来培ってきた高い品質、膨大な数のツールバリエーション、そして永久保証制度などによって多くのメカニックに信頼を得たことは大きな誇りとなっています。スナップオンは今後もレースシーンを盛り上げるべくレーシングスピリッツにあふれた製品を販売していきたいと考えています。

SUGOスーパーバイクスペシャル

Snap-onではスポーツランド菅生内にブースを出店しています。是非お立ち寄り下さい。

Snap-on Tools For The Professionals In The World

ディーラー販売できめ細かいサービスのスナップオン

スナップオン・ツールズ株式会社では当社スナップオン・ディーラー（正規代理店）を通じて、より一層のアフターサービス、製品の保証サービスを行っております。

スナップオン・ディーラー（正規代理店）説明会随時開催中!!

詳しいお問い合わせは担当/土城  **0120-03-5569**

スナップオン・ツールズ株式会社
SNAP-ON TOOLS K.K. (JAPAN)

本社/〒136東京都江東区新木場1-8-10 TEL.(03)5569-2855 FAX.(03)3522-2070
西日本支社/〒662兵庫県西宮市今在家町3-6 TEL.(0798)26-1550 FAX.(0798)26-1580
(一吉西宮INGビル7F)

Snap-on Van



Fräulein AERO®

'93-SEP. COLLECTION

Fräulein AERO



111056 ④ ¥11,000



111560 ④ ¥11,000

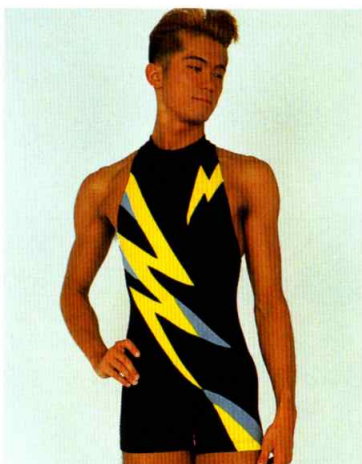
SOAKS-IT!
light



738325 ② ¥11,000



738524 ③ ¥12,000



738322 ① ¥13,000



738423 ① ¥11,000

ウエザー本社ビル「フロイラインショップ」にも購入できます。

Fräulein AERO *Weather Corporation*

〒153 東京都目黒区青葉台2-17-5 1F
TEL.03・5489・6628 FAX.03・5489・6629

SUGO秋のレースごあんない

チケットのお求めは
オートバイ販売店・チケットぴあ・チケットセゾン・
丸井チケットぴあ・セブンイレブン・サンクス・セ
ブオン・各プレイガイド

第21回TBCビッグロードレース・全日本ロード選手権シリーズ第11戦SUGO大会

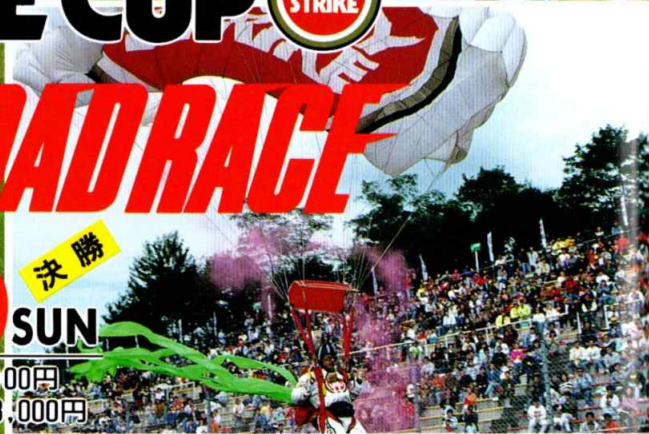
LUCKY STRIKE CUP



TBC BIG ROAD RACE

10/9 SAT 予選
10/10 SUN 決勝

■当日 / 大人5,000円・小人1,100円
■前売 / 大人4,200円・ペア券8,000円



全日本モトクロス選手権シリーズ 第9戦SUGO大会

9/4 SAT 予選
9/5 SUN 決勝

■当日 / 大人2,600円・小人1,100円
■前売 / 大人2,100円・ペア券4,000円



CYCLE SOUNDS

サイクルサウンズ

ロードスポーツマガジン 発行(株)山海堂

毎月1日発売 定価 580円

●全国書店・コンビニエンスストア・サーキットでお求めください。

サイクルサウンズは国内唯一のロードスポーツ専門誌です

ロードレースを愛する
すべての人へ



世界グランプリから地方選手権まで全レースをレポートしています

MAN TO MAN VIDEO 絶賛発売中!!

The American Super Riding

『福田照男のアメリカン
スーパーライディング』
▼VHS45分 3500円



●福田照男のアメリカンスーパーライディング2
『旋回テクニック』
▼VHS45分 3500円
旋回のためのステアリング操作、加
減速等の実戦編。

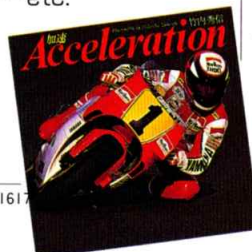


●福田照男のアメリカンスーパーライディング3
『サーキット攻略編』
▼VHS45分 3500円
車載カメラによる体感映像で、鈴鹿/筑波の
サーキット攻略。



*表示はすべて税込み価格です。

『加速 Acceleration
アクセラレーション』
photographs by 竹内秀信 2800円
ロードレース世界選手権の戦
士たちのドラマ/オーバー300
km/hを一瞬に焼き付けるフィ
ルム上のハイスピードバトル。
レイニー/ローソン/シュワ
ンツ/コシンスキー/ガード
ナーetc.



山海堂 〒113 東京都文京区本郷5-5-18 TEL 03(3816)1617

SUGO秋のレースごあんない

チケットのお求めは
チケットぴあ・チケットセゾン・丸井チケットぴあ・セ
ブンイレブン・サンクス・セーブオン・各プレイガイド



'93全日本フォーミュラ3選手権シリーズ第8戦

'93 SUGO ALL JAPAN FORMULA CUP RACE F3

9/11 ^{予選} SAT • 12 ^{決勝} SUN

■当日／大人4,000円・小人1,100円
■前売／大人3,400円・ペア券6,400円



N1耐久ラウンドシリーズ 第10回SUGO500km耐久レース

11/6 ^{予選} SAT • 7 ^{決勝} SUN

■当日／大人3,500円・小人1,100円
■前売／大人3,000円・ペア券5,500円

TRADITIONAL
FAST FOOD

 **NAGATANIEN**

私谷園の
お茶づけ海苔

私谷園の
さけ茶づけ

しその
実り
私谷園の
梅干茶づけ

私谷園の
たらこ茶づけ



PRO AMA[®] Racing

'93 SUPER BIKE SERIES

好評
発売中!!

'93AMA
スーパーバイクシリーズ!
続々リリース!!



スコット・ラッセル



アーロン・スライト



エディ・ローソン



マイク・スミス



宗和 孝宏

AMAスーパーバイクライダー鈴鹿8耐を制覇!

1993年のモータースポーツシーンは、AMAスーパーバイクライダー達の活躍によって話題を独占されている/3月に行われたDAYTONA200では伝説的ライダー、エディ・ローソンがAMAのレースに復帰、92年のDAYTONAウィナー、スコット・ラッセルとチームメイトのバトルを繰り上げチェッカーを受けた。また、AMAスーパーバイク92年のシリーズチャンピオンスコット・ラッセルはステージを世界に移民し、現在ワールドスーパーバイクのランキングトップを走っている。ラッセルと入道し、AMAに戻ったドゥカティのダグ・ポーレンも現在AMAのランキングトップである。日本人としてAMAに全戦チャレンジしている宗和孝宏選手も、ついに第6戦ニューハンプシャーでスーパーバイク8位の表彰台を獲得/SS750では念願の初優勝を遂げた/世界で最も過酷なロードレースと言われるAMAスーパーバイクの頂点にいまは宗和は名を刻んだのだ。そして、迎えた鈴鹿8時間耐久ロードレース。世界のモーターサイクルレースの頂点に位置するこのレースを制覇したのも、やはりAMAライダーだった/表彰台にあがった顔触れが、それを物語っている/スコット・ラッセル、アーロン・スライト、エディ・ローソン、マイク・スミス、言うまでもなく今年のDAYTONA200のトップを飾ったメンバーである/そして、ラッセルに代って、カワサキ長年の悲願をふたつも達成している/DAYTONAの優勝と鈴鹿8耐の優勝である/そしてもうひとつの悲願ワールドスーパーバイク・チャンピオンも獲得するだろう/恐るべしAMAライダーの底力/まさに世界のモーターサイクルシーンは、AMAライダーによって制覇されようとしている/その、AMAスーパーバイクライダーの全貌を、このビデオシリーズは克明に伝えている/次代のスターがしのぎを削るAMAスーパーバイクシーン/理屈抜きにとにかく観ることだ!!

ROUND #1 PHOENIX

● 第1戦フェニックス
& SS600,SS750,GP250,H-D TWINSPTS
VHS/Hi-Fi 価格 ¥2,800 送料込み
90min/STEREO (税込み)

ROUND #2 DAYTONA200

● 第2戦デイトナ200
VHS/Hi-Fi 価格 ¥4,800 送料込み
60min/STEREO (税込み)

ROUND #3 LAGUNA SECA

● 第3戦ラグナ・セカ
& SS600,SS750 class
VHS/Hi-Fi 価格 ¥2,800 送料込み
60min/STEREO (税込み)

ROUND #4 CHARLOTTE

● 第4戦シャーロット
& SS750 class
VHS/Hi-Fi 価格 ¥2,800 送料込み
60min/STEREO (税込み)

ROUND #5 ROAD AMERICA

● 第5戦ロード・アメリカ
& SS750 class
VHS/Hi-Fi 価格 ¥2,800 送料込み
60min/STEREO (税込み)

ROUND #6 NEW HAMPSHIRE

● 第6戦ニュー・ハンプシャー
& SS750 class 9月中旬発売
VHS/Hi-Fi 価格 ¥2,800 送料込み
60min/STEREO (税込み)

お申し込み・お問い合わせ

OMEGA POINT
オメガ・ポイント

〒169 東京都新宿区西早稲田3-11-6 コアハイム西早稲田1F
TEL.03(3202)5115代 FAX.03(3202)0815

購入方法

- 現金書留 お申し込み用紙 (コピーでも可) と現金を同封してお送り下さい。この際、お釣りのないようお願いいたします。
 - 銀行振込 お申し込み用紙 (コピーでも可) を郵送またはFAXで送り、代金を「さくら銀行高田馬場支店 (番) 3708975 オメガポイント」までお振り込み下さい。(振込手数料はご負担下さい)
 - 商品代引 お申し込み用紙 (コピーでも可) を郵送またはFAXでお送り下さい。商品到着時に代金と代引手数料(¥210)をお支払い頂きます。
- お申し込み用紙を受け取り、入金確認後 (商品代引の場合は申し込み用紙受取後) すぐに発送致しますが、地域によっては多少日数がかかる場合がありますので予めご了承下さい。尚、ご購入後の商品の返品は原則としてお受けできませんが、万一、商品に不良があった場合は、新品と取り替え致します。

● 発売 OMEGA POINT

● 制作・著作

TNET Visual

申し込み用紙 (コピーでも可)

フリガナ			
氏名	年齢	職業	
フリガナ			
住所	〒		
お支払い方法	<input type="checkbox"/> 現金書留	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> 代引
ビデオタイトル	Tel. ()		
		注文本数	本



夏を走りたい!

秋の月

仙台に銘菓あり



歴史と味の



広瀬通り 大町店

仙台市青葉区大町2丁目14の18 ☎022(263)3000代

■全国発送承ります/発送センター☎0224(52)3000・FAX☎0224(52)1855

本社・工場☎0224(52)3000代

高砂工場☎0224(52)3211代

営業本部☎022(267)3000代

中央研究所☎0224(52)3001代

研修センター☎022(299)6181代



アツアツの国は、
おひさまよりカラカラになるんです。

リフレッシュメント ウォーター

わたしのいのちの水 (ポカリスエット)